

春日井市民病院年報

第 5 卷

(2018)

春日井市民病院

序

当院の1年間の医療活動ならびに職員の学会活動をまとめた報告集を刊行することになりました。古えから「送る月日に関守なし」と申しますが、小職も馬齢を重ね、院長職を10年務めました。ということは巻頭言も10回記載したことになります。何を書き連ねてきたのか心配な部分もあり、まさしく「日暮れて道遠し」の感です。職員から年報を刊行する意義は何かと尋ねられることがあります。私自身の経験を述べさせて頂くと、年を重ね、1年前の事々の記憶も曖昧になってきました。しかし、報告集がありますと、記録を紐解くことにより、当時考えていたこと、やろうとしていたことが髣髴と思い出されます。結果として、ほとんどの場合で先見の明なく、今から思うと忸怩たる気分になることばかりですが、自らの成長遍歴を辿るよい手段ではないかと思えます。実際、この10年の間に当院は素晴らしい発展を遂げることができました。経常収支の黒字は9年連続で、平成27年度は全国5位の収益率、平成29年度の段階では全国で2位の収益率となっています。例年1位の大垣市民病院にはかなわないものの、順調な状況となっています。また、当診療圏で最初に地域医療支援病院に指定されましたが、現在では紹介率が80%強、逆紹介率は100%強となり、新患者数は徐々に増加しています。愛知県内でも堂々たる結果です。

高名な寺田寅彦先生は「科学者とあたま」という本の中で、「疑いは知の基である。能く疑う者は能く知る人である」と記しています。大きく異なった結論が出る可能性がある岐路に立ったときに、我々が取るべき道を誤らないためには、前途を見通す内察と直感の力をもたなければなりません。しかし、そのような判断を求められることは日常茶飯時の中にあると言っても過言ではないでしょう。何時でも不可解な疑問点を直視し、その対応に苦吟することが、科学的研究ならびに業務についている者にとって、さらに重要必須なことと教えてくださっているのではないかと思います。医療に携わる者にとっても大事な戒めの言葉です。自らの力の限界を自覚してはいても、支援を求める多くの患者の前に自分を投げ出し、患者が訴えるさまざまな悩み、苦しみを傾聴する覚悟があって、はじめて医療者になれるのだと思います。

上記のような観点から今年度の医報を概観しますと、多くの部局から学術集会での発表だけでなく、地域で開催される研究会などへの講演、医学雑誌への論文投稿など、活発な研究活動が行われていることを実感します。小職はtop downからbottom upへの変換を目指してきましたが、職員全体が活動的となり、行動も伴うようになったことが、当院の発展の基礎にあると思っています。年報への巻頭言を寄稿することもこれが最後になりますが、職員の貢献に感謝しつつ、一種の感動が心底から巻き上がる気持ちを禁じ得ません。「蒔かぬ種は生えぬ」とも申します。職員の益々の研鑽を祈念して筆を置きます。

感謝

平成31年3月

院長 渡邊 有三
(平成31年4月より統括顧問)

春日井市民病院の基本理念

春日井市民病院は自治体病院として地域の医療にかかわる要望に誠実かつ不断に応えることを存立の意義とする。

基本方針

- 1 人権の尊重によって築かれる相互の信頼のもとに、医療を受けられる方の意思が反映された医療を行います。
- 2 正当な根拠に基づく良質で高水準の医療を効率的に行うために絶えず研鑽します。
- 3 急性期医療の拡充と専門医療の推進に努めます。
- 4 地域の基幹病院として、医療機関、介護サービス事業者、保健・福祉行政との連携を密にして地域完結型医療を推進します。
- 5 公営企業として健全な経営に努めます。

診療を受ける皆様の権利と守っていただく事項

春日井市民病院では診療を受ける皆様と、私たち病院職員の双方が互いに尊敬し、信頼し、協力しあって、初めてよい医療の提供ができると考えています。

相互に信頼し協力しあって医療を行うために、私たち病院職員は皆様に次に掲げる権利を約束するとともに、守っていただく事項をお知らせします。

〔皆様の権利〕

- 1 人権を尊重され、プライバシーを守られて診療を受けること
- 2 自分の病気や診療内容について、十分な説明を受けること
- 3 治療を選択する権利と、同意できない診療を拒否すること
- 4 診断や治療について、他の医療機関の医師の意見（セカンド・オピニオン）をきくこと

〔皆様に守っていただく事項〕

- 1 自らの健康状態や治療中に生じた問題について病院職員に伝えること
- 2 院内では静粛を保ち、大声を発したりして他の方々に迷惑をかけること
- 3 医療費の支払いの請求を受けたときは、すみやかにお支払ください

個人情報保護方針

春日井市民病院（以下「当院」という。）では、地域の医療にかかわる要望に誠実かつ不断に応えることを基本理念とし、当院を利用する皆様と当院の職員が、相互信頼のもとに良質で高度な医療を提供しています。皆様の個人情報についても、適切に保護し、管理することが非常に重要であると考えております。

そのため、当院では次のとおり個人情報保護方針を定め、確実な履行に努めます。

1 個人情報の収集について

当院が当院を利用する皆様の個人情報を収集する場合は、診療、看護及び皆様の医療にかかわる範囲で行います。その他の目的で個人情報を収集する場合は、その利用目的をあらかじめお知らせし、同意を得た上で行います。

2 個人情報の利用及び提供について

当院は当院を利用する皆様の個人情報の利用及び提供については、次のいずれかに該当する場合を除き、本来の利用目的の範囲を超えません。

- (1) 本人の同意を得た場合
- (2) 法令等に基づく場合
- (3) 個人を識別あるいは特定できない状態に加工して利用する場合

3 個人情報の適正管理について

当院は当院を利用する皆様の個人情報について、正確かつ最新の状態に保ち、漏えい、紛失、破壊、改ざん等の未然防止に努めます。

4 個人情報の確認・修正等について

当院は当院を利用する皆様の個人情報について、皆様から開示を求められた場合、当院の「診療情報の提供についての指針」に従って対応します。また、内容が事実でない等の理由で訂正を求められた場合も、直ちに調査し、適切に対応します。

5 問い合わせ等の窓口について

個人情報保護方針や個人情報に関する皆様のお尋ねについては、医事課でお聞きいたします。

6 法令等の遵守と見直しについて

当院は個人情報に関する法令や市条例その他の規範を遵守するとともに、この指針の各項目の見直しを適宜行い、個人情報を保護するために最善の努力をいたします。

平成29年 5月30日

個人情報保護管理者

春日井市民病院 院長

目 次

院長挨拶

春日井市民病院の基本理念・基本方針

診療を受ける皆様の権利と守っていただく事項

個人情報保護方針

研究実績

受賞演題	1
著書	1
論文	2
寄稿等	6
国際学会	7
全国学会	8
地方学会・研究会	14
講演等	17
その他	22
地域研修会・交流会等	22
研修医CPC	27
剖検報告	28

病院概要

I 施設概要

1 沿革	31
2 歴代院長等	36
3 施設	38
4 施設基準等	39
5 各種指定医・指定医療機関等の状況	42
6 組織	44
7 職員数	45
8 主要医療器械備品	46

II 業務概要

1 入院者数	47
2 外来受診者数	49
3 入院・外来の患者構成と居住地区	51
4 医療連携事業	52
5 紹介・逆紹介患者数及び紹介率	52
6 救急患者受入状況	53
7 手術等件数	54
8 人工透析件数	55
9 分娩件数	55

10	剖検件数	55
11	栄養指導等件数	55
12	処方せん枚数、薬剤管理指導件数	55
13	検査件数	55
14	放射線撮影件数	56
15	各種検診等	56
16	がん相談支援センター相談件数	56
17	特殊外来の状況	57
18	入院患者数とクリニカルパス適用患者数	57
19	市民公開講座	58

Ⅲ 経理概要

1	年度別収支状況	
	(1) 総括	59
	(2) 収益的収支	60
	(3) 資本的収支	61
2	貸借対照表	62
3	経営分析	65

地域連携誌「Trinity」の発行	66
-------------------	----

病院新聞「さくら」の発行	67
--------------	----

健康新聞「らいふ」の発行	68
--------------	----

中日新聞「リンクト」LINKED	69
------------------	----

市民病院フォトギャラリー	70
--------------	----

研究実績

受賞演題

<第294回東海外科学会 若手奨励賞> TAEにより受傷直後の緊急手術を 回避できた大量出血を伴う 下行結腸間膜損傷の1例

岡本紗和子 佐藤 文哉 玉井 宏明
古田 美保 渡邊 真哉 上遠野由紀
會津 恵司 三輪 知弘 有元 淳記
影山優美子 三竹 泰弘 宮村 徑
山本 泰資 山本 美里 山口 竜三
春日井市民病院 外科

【緒言】 ダメージコントロール (DC) 目的のTAE後に腸管切除・再建した大量出血を伴う外傷性腸間膜損傷症例を経験した。

【症例】 44歳、男性。3mの高さから転落、左側腹部を強打した。搬送時ショックバイタルであったが、輸液により改善した。造影CTで下行結腸背側の大量血腫と造影剤の血管外漏出を認め、下腸間膜動脈 (IMA) 領域の活動性出血と診断した。腸管虚血の懸念はあったが、DCのためTAEを先行し、後日評価する腸管虚血の程度によって手術適応を決める方針とした。IMA造影で下行結腸の辺縁動脈損傷と判明し、TAEを行った。血行動態は安定しカテコラミンからも離脱した。翌日のCTでの下行結腸の浮腫状変化と下部消化管内視鏡での小範囲の粘膜壊死所見から腸管虚血と診断し、下行結腸切除・吻合を施行した。経過良好、POD8退院。

【結語】 TAEにより循環動態の不安定な受傷直後の緊急手術を避け、安定した循環動態のもと、安全に手術を施行しえた。

著書

- 総合内科医の必修臨床問題182問
(medicina) Q85~87 担当, 2017

腎臓

成瀬 友彦
春日井市民病院 副院長

- 腎臓・透析療法・透析患者の体
イラスト図鑑 透析ケア2017夏季増刊
(MC メディカ出版) 108~111, 2017

腹膜透析の種類

坂 洋祐
春日井市民病院 腎臓内科

- 増刊レジデントノート 神経内科がわかる、好きになる
(羊土社) Vol.18-No.17, 2017

第3章 神経疾患を病歴聴取と 身体所見で鑑別する！ 13 歩行障害

安藤 孝志 寺尾 心一
春日井市民病院 神経内科

- 全国自治体病院協議会雑誌2017 4月
56-58, 2017

春日井市民病院が取り組む 多職種連携システムの構築 ～春日井さくらネットワークの 導入と運用構築～

後藤 慎一
春日井市民病院 医療情報センター

- 臨床検査第61巻第3号
284-289, 2017

在宅医療における品質管理のための IT活用

後藤 慎一

春日井市民病院 臨床検査技術室

- MEDICAL TECHNOLOGY
1497-1500, 2017

知っておきたい！ 臨床検査機器の 安全管理とトラブルシューティング 血液学的検査装置 POCT 血液学 的検査装置

後藤 慎一

春日井市民病院 臨床検査技術室

論 文

- Lupus Vol.26 (4) 447-448, 2017

Rapidly progressive lupus nephritis associated with golimumab in a patient with systemic lupus erythematosus and rheumatoid arthritis

Y Saka, Y Taniguchi, Y Nagahara,
R Yamashita, M Karasawa, T Naruse and
Y Watanabe

Department of Internal Medicine, Kasugai
Municipal Hospital, Kasugai, Japan

- Clin Exp Nephrol, Vol 21 (5) : 919-92, 2017

Quality of life of elderly patients on peritoneal dialysis versus hemodialysis: a single-center study

Y Saka¹, T Naruse¹, N Tawada¹,
M Tokomoto¹, Y Noda¹, Y Taniguchi¹,
Y Nagahara¹, R Yamashita¹, M arasawa¹,
Y Watanabe¹ and Y Ito²

¹Department of Nephrology, Kasugai
Municipal Hospital, Kasugai, Japan

²Department of Nephrology, Nagoya
University Graduate School of Medicine,
Nagoya, Japan

- 臨床神経 2017;57:591-597

ドパミントランスポーター シンチグラフィで線条体の集積低下 を示し、レボドパ併用が有効で あった糖尿病性舞踏病

横井 克典 数田 知之 鳥居 良太
遠藤 利洋 荒木 周 寺尾 心一

春日井市民病院 神経内科

●臨床神経 2018 ; 58 : 332-334

SAPHO症候群を合併した
パーキンソン病の1例

安藤 孝志¹⁾²⁾ 荒木 周¹⁾ 寺尾 心一¹⁾
勝野 雅央²⁾

¹⁾春日井市民病院 神経内科

²⁾名古屋大学 神経内科

●J Cardiol. (in press)

Comparison of two dosing methods
for immediate administration of
tolvaptan in acute decompensated
heart failure.

Oguri M¹⁾, Ishii H²⁾, Ohguchi S³⁾, Takahara
K³⁾, Kawamura Y³⁾, Yokoi Y³⁾, Izumi K³⁾,
Takahashi H⁴⁾, Kamiya H⁵⁾, Murohara T²⁾.

¹⁾Department of Cardiology, Kasugai Municipal
Hospital, Kasugai, Japan. Electronic address:
oguricap0909@gmail.com.

²⁾Department of Cardiology, Nagoya University
Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan.

³⁾Department of Cardiology, Kasugai Municipal
Hospital, Kasugai, Japan.

⁴⁾Division of Medical Statistics, Fujita Health
University, Toyoake, Japan.

⁵⁾Department of Cardiology, Japanese Red
Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan.

●Cardiovasc Interv Ther. (in press)

Vasospastic angina in a 16-year-old
female.

Sumi T¹⁾, Tanaka A²⁾, Ishii H¹⁾, Suzuki S¹⁾,
Oguri M³⁾, Murohara T¹⁾.

¹⁾Department of Cardiology, Nagoya University
Graduate School of Medicine, Nagoya University,
65 Tsurumai-cho, Showa-ku, Nagoya, 466-8550,
Japan.

²⁾Department of Cardiology, Nagoya University
Graduate School of Medicine, Nagoya University,
65 Tsurumai-cho, Showa-ku, Nagoya, 466-8550,
Japan.

akihito17491194@gmail.com.

³⁾Department of Cardiology, Kasugai Municipal
Hospital, Kasugai, Japan.

●Obesity research & clinical practice. 2017
May-Jun;11 (3) :299-314

Obesity-related changes in clinical
parameters and conditions in a
longitudinal population-based
epidemiological study.

Oguri M¹⁾, Fujimaki T²⁾, Horibe H³⁾, Kato K⁴⁾,
Matsui K⁵⁾, Takeuchi I⁶⁾, Yamada Y⁷⁾.

¹⁾Department of Cardiology, Kasugai Municipal
Hospital, Kasugai, Aichi, Japan.

²⁾Department of Cardiovascular Medicine, Inabe
General Hospital, Inabe, Mie, Japan.

³⁾Department of Cardiovascular Medicine, Gifu
Prefectural Tajimi Hospital, Tajimi, Gifu, Japan.

⁴⁾Department of Internal Medicine, Meitoh
Hospital, Nagoya, Aichi, Japan.

⁵⁾Department of Biostatistics, Graduate School
of Medicine, Nagoya University, Nagoya, Japan.

⁶⁾Department of Computer Science, Graduate
School of Engineering, Nagoya Institute of
Technology, Nagoya, Aichi, Japan; Core Research
for Evolutionary Science and Technology

(CREST) , Japan Science and Technology
Agency, Kawaguchi, Saitama, Japan.

⁷⁾Core Research for Evolutionary Science and
Technology (CREST) , Japan Science and
Technology Agency, Kawaguchi, Saitama, Japan;
Department of Human Functional Genomics, Life
Science Research Center, Mie University, Tsu,
Mie, Japan.

●Asia Pacific allergy

Evaluation of the results of oral food
challenges conducted in specialized
and general hospitals

Kazunori Sakai¹⁾, Kemal Sasaki¹⁾, Tomoko
Furuta¹⁾, Shiro Sugiura¹⁾, Yukari Watanabe²⁾,
Takae Kobayashi³⁾, Takashi Kawabe³⁾,
Masashi Morishita⁴⁾, Kumiko Nakanishi⁵⁾,
and Komei Ito corresponding author¹⁾

¹⁾Department of Allergy, Aichi Children's Health
and Medical Center, Obu 474-8710, Japan.

²⁾Department of Pediatrics, Okazaki City Hospital,
Okazaki 444-8553, Japan.

³⁾Department of Pediatrics, Kasugai Municipal
Hospital, Kasugai 486-8510, Japan.

⁴⁾Department of Pediatrics, Tosei General Hospital,
Seto 489-8642, Japan.

⁵⁾Department of Pediatrics, Toyota Kosei Hospital, Toyota 470-0396, Japan.

●日臨外会誌 78 (4), 748—753, 2017

上腸間膜動脈閉塞下に切除した
大量出血を伴う径30cmの
デスマイドの1例

山中 美歩 山口 竜三 渡邊 真哉
會津 恵司 三輪 知弘 有元 淳記
春日井市民病院外科

●European Journal of Cancer 93 (2018)
79-88

Health-related quality of life of
adjuvant chemotherapy with S-1
versus gemcitabine for resected
pancreatic cancer: Results from a
randomised phase III trial (JASPAC
01)

Yasuhiro Hagiwara¹⁾, Yasuo Ohashi²⁾*,
Katsuhiko Uesaka³⁾, Narikazu Boku⁴⁾, Akira
Fukutomi⁵⁾, Yukiyasu Okamura³⁾, Masaru
Konishi⁶⁾, Ippei Matsumoto⁷⁾, Yuji Kaneoka⁸⁾,
Yasuhiro Shimizu⁹⁾, Shoji Nakamori¹⁰⁾,
Hirohiko Sakamoto¹¹⁾, Soichiro Morinaga¹²⁾,
Osamu Kainuma¹³⁾, Koji Imai¹⁴⁾, Naohiro
Sata¹⁵⁾, Shoichi Hishinuma¹⁶⁾, Hitoshi
Ojima¹⁷⁾, Ryuzo Yamaguchi¹⁸⁾, Satoshi
Hirano¹⁹⁾, Takeshi Sudo²⁰⁾ for the JASPAC
01 Study Group

¹⁾Department of Biostatistics, Graduate School of
Medicine, The University of Tokyo, 7-3-1 Hongo,
Bunkyo, Tokyo 113-0033, Japan

²⁾Department of Integrated Science and
Engineering for Sustainable Society, Chuo
University, 1-13-27 Kasuga, Bunkyo, Tokyo 112-
8551, Japan

³⁾Division of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery,
Shizuoka Cancer Center Hospital, 1007 Shimo-
Nagakubo, Nagaizumi, Sunto, Shizuoka 411-8777,
Japan

⁴⁾Gastrointestinal Medical Oncology Division,
National Cancer Center Hospital, 5-1-1, Tsukiji,
Chuo, Tokyo 104-0045, Japan

⁵⁾Division of Gastrointestinal Oncology, Shizuoka
Cancer Center Hospital, 1007 Shimo-Nagakubo,
Nagaizumi, Sunto, Shizuoka 411-8777, Japan

⁶⁾Department of Hepatobiliary-Pancreatic Surgery,
National Cancer Center Hospital East, 6-5-1,
Kashiwanoha, Kashiwa, Chiba 277-8577, Japan

⁷⁾Division of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery,
Kindai University Faculty of Medicine, 377-2,
Onohigashi, Osakasayama, Osaka 589-8511,
Japan

⁸⁾Department of Surgery, Ogaki Municipal
Hospital, 4-86, Minaminokawacho, Ogaki, Gifu
503-8502, Japan

⁹⁾Department of Gastroenterological Surgery,
Aichi Cancer Center Hospital, 1-1, Kanokoden,
Chikusa, Nagoya, Aichi 464-8681, Japan

¹⁰⁾Department of Surgery, Osaka National
Hospital, 2-1-14, Hoenzaka, Chuo, Osaka, Osaka
540-0006, Japan

¹¹⁾Division of Gastroenterological Surgery,
Saitama Cancer Center, 780, Komuro, Ina, Kita-
adachi, Saitama 362-0806, Japan

¹²⁾Department of Gastrointestinal Surgery,
Kanagawa Cancer Center, 2-3-2, Nakao, Asahi,
Yokohama, Kanagawa 241-8515, Japan

¹³⁾Department of Gastroenterological Surgery,
Chiba Cancer Center, 666-2, Nitonacho, Chuo,
Chiba, Chiba 260-8717, Japan

¹⁴⁾Department of Surgery, Asahikawa Medical
University, Midorigaoka-Higashi, 2-1-1-1,
Asahikawa, Hokkaido 078-8510, Japan

¹⁵⁾Department of Surgery, Jichi Medical University,
3311-1, Yakushiji, Shimotsuke, Tochigi 329-0498,
Japan

¹⁶⁾Department of Hepato-Biliary-Pancreatic
Surgery, Tochigi Cancer Center, 4-9-13, Yonan,
Utsunomiya, Tochigi 320-0834, Japan

¹⁷⁾Department of Gastroenterological Surgery,
Gunma Prefectural Cancer Center, 617-1,
Takahayashi-nishi-cho, Ota, Gumma 373-8550,
Japan

¹⁸⁾Department of Surgery, Kasugai Municipal
Hospital, 1-1-1, Takaki-cho, Kasugai, Aichi 486-
8510, Japan

¹⁹⁾Department of Gastroenterological Surgery
II, Hokkaido University Graduate School of
Medicine, Kita 15, Nishi 7, Sapporo 060-8638,
Japan

²⁰⁾Department of Surgery, National Hospital
Organization Kure Medical Center, 3-1, Aoyama-
cho, Kure, Hiroshima 737-0023, Japan

- 日鏡外会誌 22 : 677-683, 2017

腹腔鏡下に切除した 未破裂右胃大網動脈瘤の1例

有元 淳記* 渡邊 真哉 三竹 泰弘
山本 泰資 山本 美里 山口 竜三
春日井市民病院外科

- 胆と膵 2017 Vol.38 (9) p.885~890

短期間で急速に増大した 膵管内乳頭粘液性腫瘍を伴わない 膵粘液癌の1切除例

中橋 剛一¹⁾ 山口 竜三¹⁾ 渡邊 真哉¹⁾
會津 恵司¹⁾ 三輪 知弘¹⁾ 立山 尚²⁾
¹⁾春日井市民病院外科
²⁾春日井市民病院病理部

- 日本消化器外科学会雑誌. 2017;50 (7) :
563-570

術後6年以上無再発生存中の 横行結腸・上腸間膜静脈浸潤を伴う 膵頭部腺扁平上皮癌の1例

中橋 剛一¹⁾ 山口 竜三¹⁾ 渡邊 真哉¹⁾
會津 恵司¹⁾ 三輪 知弘¹⁾ 有元 淳記¹⁾
山中 美歩¹⁾ 三竹 泰弘¹⁾ 立山 尚²⁾
¹⁾春日井市民病院外科
²⁾春日井市民病院病理部

- J Orthop Sci. 22、874-879

Comparison of quantitative evaluation between cutaneous and transosseous inertial sensors in anterior cruciate ligament deficient knee: A cadaveric study

Murase A¹⁾, Nozaki M²⁾, Kobayashi M¹⁾, Goto
H¹⁾, Yoshida M¹⁾, Yasuma S¹⁾, Takenaga
T¹⁾, Nagaya Y³⁾, Mizutani J¹⁾, Okamoto H¹⁾,
Iguchi H⁴⁾, Otsuka T¹⁾.

¹⁾Department of Orthopaedic Surgery, Nagoya City

University Graduate School of Medical Sciences,
1-Kawasumi, Mizuho-Cho, Mizuho-Ku, Nagoya
467-8601, Japan.

²⁾Department of Orthopaedic Surgery, Nagoya City
University Graduate School of Medical Sciences,
1-Kawasumi, Mizuho-Cho, Mizuho-Ku, Nagoya
467-8601, Japan.

Electronic address: mnozaki@med.nagoya-cu.
ac.jp.

³⁾Department of Joint Surgery for Rheumatic
Disease, Nagoya City University Graduate School
of Medical Sciences, 1-Kawasumi, Mizuho-Cho,
Mizuho-Ku, Nagoya 467-8601, Japan.

⁴⁾Department of Arthroplastic Medicine, Nagoya
City University Graduate School of Medical
Sciences, 1-Kawasumi, Mizuho-Cho, Mizuho-Ku,
Nagoya 467-8601, Japan.

- 骨折 39、641-644

大腿骨頸部骨折に対するTwinsの 使用経験

鈴木 浩之 久保田雅仁 平出 隆将
村瀬 熱紀 福田 俊嗣 泉田 誠
春日井市民病院整形外科

- 東海産婦人科学会雑誌

卵巣癌に対する化学療法中に 発症した骨髄異形成症候群および 治療関連白血病の4症例

前田千花子
春日井市民病院産婦人科

- 愛知学院大学歯学会誌 55 (2) 76-82
2017

春日井市民病院での周術期口腔機能 管理の現状

神野 華穂 脇田 壮 中島 克仁
花井 寛之 小原圭太郎 西出 和貴
近藤祐太郎 五藤 義之 丹下 和久
春日井市民病院歯科口腔外科

寄稿等

- 日本病院会愛知県支部ニュース 第40号
2017.7

お上の忖度を期待するより、
我々自身が挙証責任を
果たすべきでは？

渡邊 有三
春日井市民病院 院長

- 日本病院会愛知県支部ニュース 第42号
2017.11

組織と個人との関わりから病院の
将来を考える愛知県病院協会

渡邊 有三
春日井市民病院 院長

- 専門医とは何ぞや？
2017.4

愛知県病院協会

渡邊 有三
春日井市民病院 院長

- 看護
2017.11

新たな人材育成・教育支援ツールと
して新たなクリニカルラダーを構築

白澤 恵
春日井市民病院 研修管理室

国際学会

●腎臓内科

学会名／演題	氏名	年月／場所
American society of nephrology, KIDNEY WEEK 2017 Thiamine Deficiency in End-stage CKD Patients	坂 洋祐	2017年11月 米国

●神経内科

学会名／演題	氏名	年月／場所
XXXIII World Congresss of Neurology DECISION MAKING ALTERATION AND CHARACTERISTIC CONNECTIVITY IN AMYOTROPHIC LATERAL SCLEROSIS	今井 和憲	2017年9月 京都市

●循環器内科

学会名／演題	氏名	年月／場所
European Society of Cardiology Congress 2017 Prognostic utility of multipoint nutritional screening in hospitalized patients with acute decompensated heart failure	滝川 智信	2017年8月 スペイン
European Society of Cardiology Congress 2017 The prognostic importance of multiple nutrition screening indexes for 1-year mortality in patients hospitalized for acute decompensated heart failure	滝川 智信	2017年8月 スペイン
European Society of Cardiology Congress 2017 Impact of Optimal Medical Therapy on One-year Outcomes in Acute Decompensated Heart Failure in Japan	河村 吉宏	2017年8月 スペイン
American Heart Association, Scientific Sessions 2017 Identification of five genetic variants as novel determinants of type 2 diabetes mellitus in Japanese by exome-wide association studies	小栗 光俊	2017年11月 米国
American Heart Association, Scientific Sessions 2017 Identification of Six Polymorphisms as Novel Susceptibility Loci for Ischemic or Hemorrhagic Stroke by Exome-Wide Association Studies	小栗 光俊	2017年11月 米国
American Heart Association, Scientific Sessions 2017 Identification of Eight Genetic Variants as Novel Determinants of Dyslipidemia in Japanese by Exome-wide Association Studies	小栗 光俊	2017年11月 米国

●外科

学会名／演題	氏名	年月／場所
The 6th Biennial Congress of the Asian-Pacific Hepato-Pancreato-Biliary Association A case of huge anaplastic carcinoma of the pancreas with no recurrence for two years and 3 months after surgery	佐藤 文哉	2017年6月 横浜市

全国学会

●腎臓内科

学会名／演題	氏名	年月／場所
第60回日本腎臓学会学術総会 透析導入期における血中ビタミンB1濃度の検討	坂 洋祐	2017年5月 仙台市
第62回日本透析医学会学術集会 Rituximabが著効し腎生検にてTMAの所見を認めたTAFRO症候群の一例	野田 悠平	2017年6月 横浜市

●糖尿病・内分泌内科

学会名／演題	氏名	年月／場所
第60回日本糖尿病学会年次学術集会 SGLT2阻害薬投与時のヘマトクリット値の変動についての検討 ヘマトクリット値上昇は脱水のみが原因か？	佐々木洋光	2017年5月 名古屋市
第60回日本糖尿病学会年次学術集会 当院での持続性GLP-1受容体作動薬導入例の臨床像について	松田 淳一	2017年5月 名古屋市
第60回日本糖尿病学会年次学術集会 高齢者血糖コントロール目標」と基幹病院糖尿病センターにおける血糖コントロールの実際	岡田由紀子	2017年5月 名古屋市
第60回日本糖尿病学会年次学術集会 当院におけるビッグアナイド使用患者の患者背景の検討 －特に最大容量使用患者と高齢者について－	林 優佑	2017年5月 名古屋市

●神経内科

学会名／演題	氏名	年月／場所
第35回日本神経治療学会総会 ステロイド抵抗性の好酸球性多発血管炎性肉芽腫症に対し免疫グロブリン大量静注療法が奏効した2例	安藤 孝志	2017年11月 さいたま市
第43回日本脳卒中学会学術集会 STROKE 2018 脳梗塞rt-PA治療の有無による患者の転帰；意識レベルと発症年齢からみた検討	遠藤 利洋	2018年3月 福岡市
第43回日本脳卒中学会学術集会 STROKE 2018 繰り返すTIAに対するrt-PA治療の有効性	鳥居 良太	2018年3月 福岡市

●消化器内科

学会名／演題	氏名	年月／場所
第114回日本内科学会総会 造影CTを用いた大腸憩室出血の治療戦略	平田 慶和	2017年4月 東京都
第53回日本肝臓学会総会 当院における非B非C型肝癌の現状	山本 友輝	2017年6月 広島市
JDDW2017第59回日本消化器病学会総会 Stage II/Ⅲ閉塞性大腸癌に対する経肛門的イレウス管留置術の長期成績	奥田 悠介	2017年10月 福岡市
第14回日本消化管学会総会 Prediction of the poor prognostic factors for stage II colorectal cancer	奥田 悠介	2018年2月 東京都

●循環器内科

学会名／演題	氏名	年月／場所
第65回日本心臓病学会学術集会 急性心不全を合併した急性心筋梗塞の予後の検討	高原 邦彦	2017年9月 大阪市
第8回ローカーボ食研究会学術集会 中規模病院における高齢者心不全の実態と栄養管理	小栗 光俊	2018年3月 名古屋市
第82回日本循環器学会総会 Identification of five genetic variants as novel determinants of type 2 diabetes mellitus in Japanese by exome-wide association studies	小栗 光俊	2018年3月 大阪市
第82回日本循環器学会総会 Identification of eight genetic variants as novel determinants of dyslipidemia in Japanese by exome-wide association studies	小栗 光俊	2018年3月 大阪市
第82回日本循環器学会総会 Identification of six polymorphisms as novel susceptibility loci for ischemic or hemorrhagic stroke by exome-wide association studies	小栗 光俊	2018年3月 大阪市

●小児科

学会名／演題	氏名	年月／場所
第120回日本小児科学会学術集会 片側腎形成不全に伴う女性生殖器異常の3例	竹内 陽平	2017年4月 東京都
第49回日本小児感染症学会 川崎病におけるプロカルシトニン測定の有用性	星野 伸	2017年10月 金沢市
第49回日本小児感染症学会 意識障害をきたした上部尿路感染症の7歳男児例	奥村 俊彦	2017年10月 金沢市

●外科

学会名／演題	氏名	年月／場所
The 29th Meeting of Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery A case of huge anaplastic carcinoma of the pancreas with no recurrence for two years and 3 months after surgery	佐藤 文哉	2017年6月 横浜市
第72回日本消化器外科学会総会 肝硬変症例に対する腹腔鏡下肝切除の工夫と治療成績	山口 竜三	2017年7月 金沢市
第72回日本消化器外科学会総会 巨大肝細胞癌破裂例に対する肝切除術の意義	佐藤 文哉	2017年7月 金沢市
第19回日本医療マネジメント学会学術総会 急性期病院での人生の最終段階における医療体制整備	會津 恵司	2017年7月 仙台市
第9回AcuteCareSurgery学会総会 当院における門脈ガス血症の検討	山本 泰資	2017年9月 札幌市
第9回AcuteCareSurgery学会総会 当院における臍頭部・十二指腸領域に対するacute care surgeryの検討	山本 美里	2017年9月 札幌市
第53回日本胆道学会学術集会 当科での黄色肉芽腫性胆嚢炎の検討	山口 竜三	2017年9月 山形市
第53回日本胆道学会学術集会 7年無再発生存している細胆管細胞癌の1例	佐藤 文哉	2017年9月 山形市
第53回日本胆道学会学術集会 胆管消化管吻合再建後、治療を要した良性吻合部狭窄の5例	三竹 泰弘	2017年9月 山形市

学会名／演題	氏名	年月／場所
第79回日本臨床外科学会総会 胸腔鏡補助下肝部分切除術を施行した肝腫瘍の2例	佐藤 文哉	2017年11月 東京都
第79回日本臨床外科学会総会 骨盤内臓全摘術における腹直筋皮弁（腹直筋弁）再建による骨盤死腔炎予防効果の検討	有元 淳記	2017年11月 東京都
第79回日本臨床外科学会総会 回結腸静脈-右腎静脈シャントを合併した Low-grade appendiceal mucinous neoplasmの1例	宮村 径	2017年11月 東京都
第25回日本乳癌学会学術集会 乳癌根治術後脳転移症例の検討	古田 美保	2017年7月 福岡市
第25回日本乳癌学会学術集会 腹部症状を契機に診断した Stage IV 浸潤性小葉癌3例の検討	山本 美里	2017年7月 福岡市
第55回日本癌治療学会 大腸癌術前CTを契機に乳癌を診断した同時性重複癌症例の検討	古田 美保	2017年10月 福岡市

●整形外科

学会名／演題	氏名	年月／場所
第9回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 内側半月板後角損傷に対して脛骨高位骨切り術とpull-out修復術にcentralizationを併用した4例	村瀬 熱紀	2017年6月 札幌市
第9回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 肩鎖関節脱臼に対してBIOMET社製Zip tightを使用した小経験	松澤 良	2017年6月 札幌市
第9回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 Fibrin clotとBone marrow stimulatingを併用した半月板縫合術の小経験	大野 智也	2017年6月 札幌市
第9回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 遊離ハムストリング腱を用いてアキレス腱再建術を行なった2例	大野 智也	2017年6月 札幌市
第43回日本骨折治療学会 若年者転位型大腿骨頸部骨折に対する骨接合術の治療成績	鈴木 浩之	2017年7月 郡山市
第43回日本骨折治療学会 徒手整復不可能であった足関節脱臼骨折の2例	福島 裕晃	2017年7月 郡山市
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会 超音波エコーを使用した内側半月板逸脱の評価	村瀬 熱紀	2017年9月 宮崎市
第43回日本整形外科スポーツ医学会学術集会 Flexible drill を使用した二重東前十字靭帯再建膝に対するCTを使用した大腿骨骨孔拡大の評価	梅村彦太郎	2017年9月 宮崎市
第129回中部日本整形外科災害外科学会 若年者転位型大腿骨頸部骨折に対する骨接合術の治療成績	鈴木 浩之	2017年10月 富山市
第129回中部日本整形外科災害外科学会 大腿骨近位部骨折髓内釘術後の大腿骨骨幹部骨折の治療検討	大野 智也	2017年10月 富山市
第19回日本骨粗鬆症学会 大腿骨近位部手術患者の骨粗鬆症治療の状況	泉田 誠	2017年10月 大阪市
第19回日本骨粗鬆症学会 テリパラチド治療終了後にデノスマブへ切り換えた症例の検討	村瀬 熱紀	2017年10月 大阪市
第19回日本骨粗鬆症学会 当院で観血的治療を行った非定形大腿骨骨折の治療経験	福島 裕晃	2017年10月 大阪市

学会名／演題	氏名	年月／場所
第56回全国自治体病院学会 徒手整復不可能であった足関節脱臼骨折の3例	鈴木 浩之	2017年10月 千葉市

●脳神経外科

学会名／演題	氏名	年月／場所
第76回日本脳神経外科学会総会 Tentorial dAVF related circumflex artery aneurysm破裂によるくも膜下出血の1例	林 重正	2017年10月 名古屋市
第76回日本脳神経外科学会総会 放射線治療後の無症候性頸動脈狭窄症に対し頸動脈内膜剥離術を行った1例	大塚 崇史	2017年10月 名古屋市
第33回日本脳神経血管内治療学会 後硬膜動脈から延髄外側への穿通枝を認めた1例	伊藤 真史	2017年11月 東京都

●歯科口腔外科

学会名／演題	氏名	年月／場所
第71回日本口腔科学会学術集会 口腔癌の対する超選択的動注化学療法における動脈乖離について	丹下 和久	2017年4月 愛媛県
第41回日本頭頸部癌学会 転移性上顎歯肉癌に対しての逆行性動注化学療法のための新しいポートの使用経験	丹下 和久	2017年6月 京都市
第41回日本頭頸部癌学会 進行上顎癌歯肉癌治療後に脳膿瘍を発症した1例	脇田 壮	2017年6月 京都市
第62回（公社）日本口腔外科学会総会・学術大会 口腔癌N0症例に対する超選択的動注化学放射線療法を用いた後発頸部リンパ節制御についての検討	小原圭太郎	2017年10月 京都市
第36回日本口腔腫瘍学会総会 超選択的動注化学療法治療後に生じた病的骨折が自然治癒した下顎歯肉癌の1例	丹下 和久	2018年1月 新潟市
第36回日本口腔腫瘍学会総会 嚢胞性病変と鑑別が困難であったMTX関連ホジキンリンパ腫の1例	脇田 壮	2018年1月 新潟市

●病理診断科

学会名／演題	氏名	年月／場所
第58回日本肺癌学会学術集会 胸腺上皮性腫瘍の病理診断	立山 尚	2017年10月 横浜市
第37回日本胸腺研究会 縦隔腫瘍の病理診断の進め方	立山 尚	2018年2月 名古屋市

●救急科

学会名／演題	氏名	年月／場所
第56回全国自治体病院学会 当院における超高齢者救急医療の状況と早期退院に向けての取り組み	近藤 圭太	2017年10月 千葉市
第45回日本救急医学会総会・学術集会 救急搬送される超高齢者症例の当院における現状について	近藤 圭太	2017年10月 大阪市
第23回日本集団災害医学会総会・学術集会 DMATに対する一般市民の意識調査 - 市民公開講座を通じて -	近藤 圭太	2018年2月 横浜市

●薬剤部

学会名／演題	氏名	年月／場所
第60回日本糖尿病学会年次学術集会 地域医療におけるインスリン製剤の認知度調査	田中 伸明	2017年5月 名古屋市
第11回日本緩和医療薬学会 がん・緩和医療に関わる支持療法 ～呼吸困難～	前田 剛司	2017年6月 札幌市
第25回日本乳癌学会 乳癌患者に対する薬剤師外来の運用および実施状況	前田 剛司	2017年7月 福岡市
第6回日本くすりと糖尿病学会 認知症が疑われる高齢者糖尿病患者に対するデュラグルチドの使用 状況調査	服部 芳明	2017年9月 東京都
第6回日本くすりと糖尿病学会 春日井市民病院における持効型・超速効混合インスリン製剤の使用 状況について	田中 伸明	2017年9月 東京都
第1回日本精神薬学会 春日井市民病院における睡眠導入剤の不眠時使用状況と転倒リスク の検討	小川 英也	2017年9月 東京都
第56回全国自治体病院学会学術集会 春日井市民病院における薬剤管理指導業務へのオーディット（監査） 導入について	田中 伸明	2017年10月 千葉市
第55回日本癌治療学会学術集会 大腸がん術後補助化学療法における薬剤師外来	鈴木 敦詞	2017年10月 横浜市
第27回日本医療薬学会 肺がん患者に対する薬剤師外来の運用および実施状況	前田 剛司	2017年11月 千葉市
第27回日本医療薬学会 腎機能低下時におけるアロプリノールの至適投与量の情報提供と尿 酸値の変化	大岩 拓馬	2017年11月 千葉市
第27回日本医療薬学会 春日井市民病院での化学療法施行患者におけるG-CSF製剤使用実態 調査	富田 庸介	2017年11月 千葉市
第33回日本静脈経腸栄養学会学術集会 誤嚥性肺炎患者の入院期間と入院時栄養状態およびポリファーマ シー状態の検討	田中 伸明	2018年2月 横浜市
日本臨床腫瘍薬学会学術大会2018 薬剤師外来における進行性腎細胞癌に対する共同薬物治療支援の有 用性	鈴木 敦詞	2018年3月 横浜市

●臨床検査技術室

学会名／演題	氏名	年月／場所
日本臨床検査自動化学会 地域医療支援病院POCコーディネータが行なう検体測定室支援につ いて	後藤 慎一	2017年9月 横浜市

●放射線技術室

学会名／演題	氏名	年月／場所
全国自治体病院学会 放射線部門におけるKYTとラウンドによる医療安全の取り組み	馬場 建造	2017年10月 千葉市

●臨床工学技術室

学会名／演題	氏名	年月／場所
第62回 日本透析医学会学術集会 GCAP脱血不良による2点脱血法の試み	毛利 真吾	2017年6月 横浜市
第62回 日本透析医学会学術集会 高齢透析患者における在宅透析の試み	伊藤 秀明	2017年6月 横浜市
第62回 日本透析医学会学術集会 バスキュラーアクセス管理・治療の効率化についての検討	斎木 憲人	2017年6月 横浜市
第82回 日本循環器学会学術集会 急性心不全患者の呼吸管理に関わる臨床工学技士の業務量について	石井 祐次	2018年3月 大阪市

●看護局

学会名／演題	氏名	年月／場所
第6回日本感染管理ネットワーク学会学術集会 子宮全摘除術における予防抗菌薬適正使用に向けた取り組み	三輪 幸	2017年5月 函館市
第22回日本緩和医療学術大会 苦痛のスクリーニングの取り組みと今後の課題	崎山奈津子	2017年6月 横浜市
第22回日本糖尿病教育看護学会学術集会 入院から在宅まで一貫した在宅支援を行った高齢者糖尿病事例におけるアプローチ法について	鏡味 法子	2017年9月 福岡市
第56回全国自治体病院学会 A病院におけるトリアージ実施場所の検討と対策について	立澤 宏真	2017年10月 千葉市
第56回全国自治体病院学会 院内急変時対応の現状から見るA病院看護教育の問題点	河合 豊	2017年10月 千葉市
第18回日本クリニカルパス学会学術集会 地域で作成した急性冠症候群地域連携パスによる共同診療	鈴木 真由	2017年12月 大阪市

●初期研修医

学会名／演題	氏名	年月／場所
第71回日本口腔科学会学術集会 肺血管周皮種（孤立性繊維性腫瘍）の口腔内転移巣に対し血管塞栓術が著効した1例	近藤祐太郎	2017年4月 愛媛県
第9回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 超音波検査を使用した正常内側半月板逸脱の評価	濱田 剛史	2017年6月 札幌市
第9回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 UKAの不良設置が反復性膝関節血腫の原因と考えられた1例	藤本 裕基	2017年6月 札幌市
第45回日本救急医学会総会・学術集会 頸部鈍の外傷後に脳梗塞を発症した一例	西田あゆみ	2017年10月 大阪市
第45回日本救急医学会総会・学術集会 見当識障害、頻回の痙攣にて搬送された神経梅毒の一例	成井 龍樹	2017年10月 大阪市

地方学会・研究会

●神経内科

学会名／演題	氏名	年月／場所
第148回日本神経学会東海北陸地方会 脳梗塞の発症時刻とrt-PA治療に関する検討	遠藤 利洋	2017年7月 名古屋市
第148回日本神経学会東海北陸地方会 繰り返すTIAに対して脳梗塞rt-PA治療を施行した3例	鳥居 良太	2017年7月 名古屋市
第148回日本神経学会東海北陸地方会 ドパミントランスポーターシンチで線条体の集積低下を示し、レボドパ投与が有効であった糖尿病性舞踏病	横井 克典	2017年7月 名古屋市
第149回日本神経学会東海北陸地方会 初診時意識レベルと脳梗塞rt-PA治療の有無による患者の転帰	遠藤 利洋	2017年11月 福井市
第19回長久手神経疾患の病理検討会、愛知医科大学加齢医科学研究所 臨床神経病理検討会 認知症で発症し、全経過約5ヶ月で死亡した72歳男性	遠藤 利洋	2017年11月 長久手市
第150回日本神経学会東海北陸地方会 一肢の感覚障害のみを呈し中心後回に局限した脳梗塞の1例	今井 和憲	2018年3月 名古屋市

●消化器内科

学会名／演題	氏名	年月／場所
第13回愛知内視鏡医療連携勉強会 大腸ESDにおけるトラクション法 S-O clipの使用経験	小島 悠揮	2017年7月 名古屋市
第60回日本消化器内視鏡学会東海支部例会 ANCA関連腎炎の症例で認めた大腸粘膜変化の1例報告	服部 礼佳	2017年11月 岐阜市

●循環器内科

学会名／演題	氏名	年月／場所
日本心血管インターベンション治療学会第37回東海北陸地方会 古典的動脈硬化因子を伴わない急性心筋梗塞患者の臨床的特徴に関する検討	滝川 智信	2017年5月 名古屋市
日本循環器学会第150回東海・第135回北陸合同地方会 高度大動脈弁狭窄症を有する急性心不全入院患者の検討	泉 和宏	2017年11月 名古屋市

●小児科

学会名／演題	氏名	年月／場所
第73回東海小児アレルギー談話会 春日井市内の保育園における食物アレルギーの対応について	小林 貴江	2018年3月 名古屋市

●呼吸器内科

学会名／演題	氏名	年月／場所
第111回呼吸器学会東海地方会 非典型的な画像を呈したニューモシスチス肺炎の一例	伊東 友憲	2017年5月 名古屋市

●外科

学会名／演題	氏名	年月／場所
第293回東海外科学会 NAC後に骨盤内臓全摘術を施行しR0切除をえた局所進行直腸癌の1例	有元 淳記	2017年4月 名古屋市
第293回東海外科学会 破裂による汎発性腹膜炎で発症した肝膿瘍の1例	宮村 徑	2017年4月 名古屋市
第293回東海外科学会 巨大胃内分泌細胞癌と直腸癌の同時性重複癌の1例	山本 泰資	2017年4月 名古屋市
第293回東海外科学会 Segmental arterial mediolysis (SAM) による腹腔内出血の1例	岡本紗和子	2017年4月 名古屋市
第54回肝胆膵治療研究会 切除後に改善を得た、胆嚢癌・十二指腸乳頭部癌の同時性重複癌による二次性	山本 美里	2017年8月 名古屋市
OWARI Breast Cancer Confarence 乳癌診療と地域との関わり	古田 美保	2017年9月 名古屋市
名古屋腫瘍外科学研究会 複数回の転移巣切除と化学療法により10年以上の長期生存が得られている大腸癌症例の検討	有元 淳記	2017年10月 名古屋市
第294回東海外科学会 病勢進行によりNACを開始できず全身状態不良下で骨盤内臓全摘術を施行した巨大直腸癌の1例	有元 淳記	2017年10月 津市
第294回東海外科学会 胆石発作を契機に発見されたIPNBの1例	影山優美子	2017年10月 津市
第294回東海外科学会 TAEにより受傷直後の緊急手術を回避できた大量出血を伴う下行結腸間膜損傷	岡本紗和子	2017年10月 津市
第63回東海肝臓外科懇話会 右葉切除後に緊張性縦隔気腫を発症した1例	佐藤 文哉	2018年2月 名古屋市
第49回愛知臨床外科学会 胆道出血のため早急に切除を要した超高齢者胆嚢癌の1例	三竹 泰弘	2018年2月 名古屋市

●整形外科

学会名／演題	氏名	年月／場所
第63回東海整形外科外傷研究会 Pulseless pink handを伴う小児上腕骨顆上解放骨折の1例	梅村彦太郎	2017年9月 名古屋市
第249回整形外科集談会東海地方会 膝蓋骨下極骨折治療に対しファイバーワイヤーで内固定術を行った4例	梅村彦太郎	2017年12月 名古屋市
第24回東海関節鏡研究会 2重東PCL再建術の2例	村瀬 熱紀	2018年1月 名古屋市

●脳神経外科

学会名／演題	氏名	年月／場所
第82回東海総合画像医学研究会 器質化慢性硬膜下血腫の一例	大塚 崇史	2017年8月 名古屋市
第83回東海総合画像医学研究会 鈍的上腕外傷後に遅発性に脳梗塞を生じた1例	西井 智也	2018年1月 名古屋市

●皮膚科

学会名／演題	氏名	年月／場所
第280回皮膚科学会東海地方会 超音波にて特徴的な構造を捉えた巨大なSolid cystic hidradenomaの1例	宇塚 千紗	2017年6月 名古屋市
第281回皮膚科学会東海地方会 両足趾の紫斑から診断に至った慢性DICの1例	小田 隆夫	2017年9月 名古屋市
第281回皮膚科学会東海地方会 島嶼状の正常皮膚が診断の手がかりとなった毛孔性紅色秕糠疹（成人古典型）の1例	宇塚 千紗	2017年9月 名古屋市

●産婦人科

学会名／演題	氏名	年月／場所
周産期医療Joint Conference 子宮型羊水塞栓症が疑われた産褥多量出血の一例	田中 秀明	2017年10月 名古屋市

●歯科口腔外科

学会名／演題	氏名	年月／場所
第42回（公社）日本口腔外科学会中部支部学術集会 放射線治療の併用のない超選択的動注化学療法のみで治癒した上顎歯肉癌の1例	五島 義之	2017年5月 静岡市

●病理診断科

学会名／演題	氏名	年月／場所
第78回日本病理学会 近畿支部学術集会 胸腺上皮性腫瘍の病理 - 鑑別診断を中心に -	立山 尚	2017年9月 神戸市

●臨床検査技術室

学会名／演題	氏名	年月／場所
第56回日臨技中部圏支部 医学検査学会 臨床検査技師による術前患者へ対する輸血説明について ～術前オリエンテーションオリエンテーリング運用開始からの変遷～	田中 裕士	2017年10月 名古屋市
第56回日臨技中部圏支部 医学検査学会 産科危機的出血時のフィブリノゲン製剤使用により救命に至った1例 ～院内で初の保険適用外使用、その後について～	古川 梓	2017年10月 名古屋市
第3回こしのくにVenous Forum 下腿微小動静脈瘻診断における下肢静脈超音波検査の有用性	若林 弥生	2017年10月 金沢市

●リハビリテーション技術室

学会名／演題	氏名	年月／場所
第58回近畿高次神経機能研究会 漢字失書が目立つ logopenic progressive aphasiaの1例：視覚－言語性短期記憶課題による検討	小川 七世	2017年8月 大阪市

●看護局

学会名／演題	氏名	年月／場所
第1回ヒューマンヘルスケア学会学術大会 人生の最終段階における医療の相談員育成の試み	森本 優子	2017年10月 大府市

学会名／演題	氏名	年月／場所
平成29年度愛知県看護研究学会 夫立ち会い分娩を経験した夫の育児に対する意識	川原 直子	2017年12月 名古屋市

●初期研修医

学会名／演題	氏名	年月／場所
第270回日本小児科学会東海地方会 周期性嘔吐症として経過観察中にヘリコバクター・ピロリ感染が確認された一例	脇田 梨恵	2017年6月 名古屋市
第53回中部日本小児科学会 先天性代謝異常疾患との鑑別に苦慮した先天性胆道閉鎖症の1例	水谷 修平	2017年8月 金沢市
第60回NPO法人日本口腔科学会中部地方部会 当院での周術期口腔機能管理導入から現在までの介入状況と効果について	小島 志乃	2017年9月 名古屋市
第271回日本小児科学会東海地方会 急性虫垂炎であった5ヶ月乳児	水谷 修平	2017年10月 岐阜市
第230回日本内科学会東海地方会 顕微鏡的多発血管炎の経過観察中に労作時呼吸困難を訴えた1例	加藤 涼平	2017年10月 四日市市
第60回日本消化器内視鏡学会東海支部例会 内視鏡的粘膜切除術を施行した十二指腸ブルネル腺由来の早期癌の1例	成井 龍樹	2017年11月 岐阜市
第234回日本内科学会東海北陸地方会 脳梗塞急性期のrt-PA治療前後に四肢の動脈閉塞を生じた2例	小川 才諒	2018年2月 名古屋市
第272回日本小児科学会東海地方会 アミラーゼの異常高値を認めたIgA血管炎の1女児例	栗畑 綾香	2018年2月 津市
第49回愛知臨床外科学会 著明な貧血、低アルブミン血症を呈した乳腺巨大葉状腫瘍の1例	守田 桂子	2018年2月 名古屋市

講演等

●院長

学会名等／演題	氏名	年月／場所
第8回赤相備透析懇話会 終末期透析患者について - 高齢透析患者への対応も含めて -	渡邊 有三	2017年9月 赤穂市
岐阜県透析研究会 透析医療の近未来 - 2025年問題を見据えて -	渡邊 有三	2017年10月 岐阜市
全国自治体病院協議会経営セミナー トップダウンからボトムアップへ - 意識改革から進める経営健全性の担保 -	渡邊 有三	2017年11月 東京都
名古屋市東区保健所難病相談 腎・泌尿器科疾患とどうやって付き合うか - ストップ慢性腎臓病 -	渡邊 有三	2017年11月 名古屋市
愛知県医師会医療事故調査制度に関する研修会 愛知県医療事故調査等支援団体等連絡協議会の活動小括	渡邊 有三	2018年3月 名古屋市

●腎臓内科

学会名／演題	氏名	年月／場所
東濃地区SHPTセミナー CKD-MBD治療で今求められていること ～エテルカルセチドに何を期待するのか？	成瀬 友彦	2017年6月 土岐市
KNACセミナー 腎障害時のNSAIDs投与を再考する	成瀬 友彦	2017年6月 名古屋市
JMECCランチョンセミナー 尿酸、様々な疾患との深い関わり	成瀬 友彦	2017年6月 春日井市
腎臓と高尿酸血症を考える会 尿酸は敵？味方？ ～様々な疾患との多様な関わり～	成瀬 友彦	2017年7月 津市
生活習慣病を語る会in春日井 尿酸は敵？味方？ ～様々な疾患との多様な関わり～	成瀬 友彦	2017年7月 春日井市
ホスレノールWEBセミナー 透析患者におけるリン管理の重要性	坂 洋祐	2017年7月 名古屋市
北勢CKD-MBD講演会 リン管理の意義を再考する	成瀬 友彦	2017年9月 四日市市
第7回SOC腎臓セミナー CKD管理のコツと落とし穴	成瀬 友彦	2017年9月 大阪市
合併症を考える ～RAと透析～ 腎機能障害患者に対するリウマチ治療	坂 洋祐	2017年9月 静岡市
透析合併症治療セミナー 腎性貧血治療の今と将来の課題	成瀬 友彦	2017年10月 名古屋市
高尿酸血症治療講演会 尿酸は敵？味方？ ～様々な疾患との多様な関わり～	成瀬 友彦	2017年10月 磐田市
京都透析合併症セミナー 腎性貧血治療の今と将来の課題	成瀬 友彦	2017年10月 京都市
尾張地区CKD-MBDセミナー CKD-MBDの最新事情 ～エテルカルセチドへの期待～	成瀬 友彦	2017年10月 春日井市
透析看護セミナー リンの重要性と管理のコツ	成瀬 友彦	2017年10月 尾張旭市
第23回日本腹膜透析医学会学術集会 ランチョンセミナー 腹膜透析のメリットを生かした適応拡大 高齢者腎不全患者への適応	坂 洋祐	2017年10月 北九州市
春日井腎友会 リンとカリウムの重要性と管理のコツ	成瀬 友彦	2017年11月 春日井市
西尾張糖尿病治療セミナー 糖尿病性腎症初期の治療戦略	成瀬 友彦	2017年11月 一宮市
ネスプ®発売10周年記念講演会 腎性貧血治療の今と将来の課題	成瀬 友彦	2017年11月 堺市
東濃CKD-MBDカンファレンス CKD-MBDの現在の課題と今後の展望	成瀬 友彦	2017年12月 多治見市
第17回東海腎臓病栄養食事研究会 ここまでわかった糖尿病性腎症	成瀬 友彦	2017年12月 名古屋市
腎移植内科セミナー 腎移植への大きな期待とちょっと不安な点	成瀬 友彦	2017年12月 名古屋市

学会名／演題	氏名	年月／場所
第4回名古屋腎不全ミーティング CKD-MBDの現在の課題と今後の展望	成瀬 友彦	2018年1月 名古屋市
愛知県臨床工学技士会血液浄化セミナーⅡ CKD-MBDの観点からみた最適透析療法	成瀬 友彦	2018年1月 名古屋市
高尿酸血症治療を考える会 in 四日市 尿酸は敵？味方？ ～様々な疾患との多様な関わり～	成瀬 友彦	2018年2月 四日市市
三重 腹膜透析道場3rd 春日井市民病院における腹膜透析の取り組み よりよい高齢者腎不全治療を目指して	坂 洋祐	2018年2月 津市
尾張NSAIDsカンファレンス 腎機能を考慮した鎮痛薬の選択	成瀬 友彦	2018年3月 名古屋市
透析合併症対策講演会 CKD-MBDの観点からみた最適透析療法	成瀬 友彦	2018年3月 桑名市
春日井エリア膠原病連携会 腎機能障害患者に対するリウマチ治療	坂 洋祐	2018年3月 春日井市

●神経内科

学会名／演題	氏名	年月／場所
第5回 院内公開講座 もの忘れと認知症のおはなし	寺尾 心一	2017年6月 春日井市
第6回 院内公開講座 もの忘れと認知症のおはなし	寺尾 心一	2017年12月 春日井市
尾張北部地区MC協議会(春日井・小牧広域二次救急医療圏)症例検討会、 救急教育講演 脳梗塞の急性期治療について	寺尾 心一	2017年12月 春日井市

●呼吸器内科

学会名／演題	氏名	年月／場所
春日井臨床UpDate(水曜日) 新しいCOPDの病診連携	岩田 晋	2017年9月 春日井市
かすがい熟年大学 肺炎を予防しよう	岩田 晋	2017年11月 春日井市
愛知県COPDネットワーク講演会 COPD連携手帳を診療に活かす工夫	岩田 晋	2018年3月 名古屋市

●消化器内科

学会名／演題	氏名	年月／場所
炎症性腸疾患の最適な治療を考える会 エビデンスに基づいたUCの治療戦略 -外来診療のコツと落とし穴-	平田 慶和	2017年6月 名古屋市
第28回春日井消化器病懇話会学術集会 膵癌のリスク因子 ～糖尿病を中心に当院での経験を踏まえて～	高田 博樹	2017年9月 春日井市
関節リウマチ治療とケアセミナー de novo肝炎を防ぐ ～医療従事者が防ぐこと～	祖父江 聡	2017年11月 犬山市
第29回春日井消化器病懇話会学術集会 春日井市胃・大腸がん検診の現状と今後	平田 慶和	2018年3月 春日井市

●循環器内科

学会名／演題	氏名	年月／場所
愛知県消防学校 心電図講義	小栗 光俊	2017年6月 尾張旭市
三重大学大学院修士課程（医科学専攻）講義 心不全の病態と最新の治療法	小栗 光俊	2017年7月 津市
かすがい熟年大学 生活習慣病の最近の話題	小栗 光俊	2017年7月 春日井市
愛知県消防学校 心電図講義	小栗 光俊	2017年11月 尾張旭市
愛知県消防学校 心電図講義	小栗 光俊	2018年2月 尾張旭市

●小児科

学会名／演題	氏名	年月／場所
春日井市学校保健会研修会 成長曲線はかく語りき	河邊太加志	2017年6月 春日井市
春日井市放課後なかよし教室 食物アレルギーとエピペン注射液について	小林 貴江	2017年6月 春日井市
春日井市市民健康づくり講座 医師に学ぶ！食物アレルギーとの向き合い方	小林 貴江	2017年7月 春日井市
市民公開講座 乳児期のスキンケアと食物アレルギーとの関連について	小林 貴江	2017年9月 春日井市
保育園長研修 子供の食物アレルギーについて	小林 貴江	2018年1月 春日井市
主任保育士研修 子供の食物アレルギーについて	小林 貴江	2018年3月 春日井市

●がん相談支援センター

学会名／演題	氏名	年月／場所
西尾市民病院 アドバンス・ケア・プランニングの導入	會津 恵司	2017年8月 西尾市

●整形外科

学会名／演題	氏名	年月／場所
春日井市スポーツ少年団指導者研修 小児スポーツ障害・傷害について	村瀬 熱紀	2017年2月 春日井市
瑞穂セミナー 初歩からの手根管症候群（診断編）	久保田雅仁	2017年7月 名古屋市

●脳神経外科

学会名／演題	氏名	年月／場所
春日井脳血管障害セミナー 予防的脳神経外科	林 重正	2017年6月 春日井市
東尾張てんかんセミナー 救急外来のてんかん対応	林 重正	2018年3月 春日井市

●皮膚科

学会名／演題	氏名	年月／場所
第1回春日井皮膚科連携の会 日々困る皮膚アレルギー診療について	古橋 卓也	2017年6月 春日井市
CLINCH（愛知重症下肢虚血ネットワーク） Patient Friendly Snap	古橋 卓也	2017年7月 名古屋市

●産婦人科

学会名／演題	氏名	年月／場所
春日井市産婦人科医会学会集会 子宮内膜症の治療	下村 裕司	2017年8月 春日井市

●薬剤部

学会名／演題	氏名	年月／場所
日本医療薬学会 第5回がん専門薬剤師全体会議 一歩進んだ薬剤師業務 ～臨床業務のフロンティアを目指して～ 「コンソシアムファイル」で保険薬局と大腸がん化学療法のリスク管理	鈴木 大吾	2017年5月 大阪市

●臨床検査技術室

学会名／演題	氏名	年月／場所
プラスケア スタイルセミナー2017 地域とともに糖尿病患者を診る！ ～循環型糖尿病地域連携パスの試み～	後藤 慎一	2017年7月 名古屋市

●簡単体操教室 ミニ講話（春日井市総合保健医療センターにて）

演題	氏名	年月
骨盤底筋体操で失禁予防	看護局 横井さつき	2017年4月
		2017年5月
お腹の中の耳よりな話	消化器内科 平田 慶和	2017年6月
		2017年7月
	消化器内科 祖父江 聡	2017年7月
認知症の話	看護局 伊藤 松恵	2017年8月
はじめよう！減塩生活	看護局 川口かおり	2017年9月
今日から始めよう便秘対策	看護局 深尾 夏代	2017年10月
いつまでもいきいきと暮らすために	医療連携室 田辺 圭子	2017年11月
今日からできる肺炎予防 ～健康は健口から～	歯科口腔外科 小原圭太郎	2017年12月
	歯科衛生士 柴山みどり	
	看護局 松永 美保	

演 題	氏 名	年 月
なが息（生き）できる呼吸の話	呼吸器内科 岩田 晋	2018年 1月
冬に多い心臓病	循環器内科 大口 志央	2018年 2月
ACPのお話	がん相談支 援センター 會津 恵司	2018年 3月

その他

●外科

演題等	氏 名	年 月
中日新聞 末期治療の選択 話し合う	會津 恵司	2017年 8月
日経メディカル 「どう逝きたいか」がリアルに伝わる文書を施設間で共有	會津 恵司	2017年 8月

地域研修会・交流会等

〈地域研修会・交流会〉

研修会名／演題	講 師	年月／場所
第27回 春日井循環器研究会 重症度別に設定した急性心筋梗塞パス	循環器内科 河村 吉宏	2017年 5月 春日井市
けやき心血管懇話会 拡張障害による心不全の治療・脂質管理を含めて	循環器内科 小栗 光俊	2017年 8月 春日井市
名古屋心不全FORUM 急性心不全治療におけるトルバプタン投与方法の工夫	循環器内科 大口 志央	2018年 1月 名古屋市
けやき心血管懇話会 当院における肺塞栓の治療例	循環器内科 小栗 光俊	2018年 1月 春日井市
さぼてん合同勉強会 在宅診療をお願いした心不全症例	循環器内科 小栗 光俊	2018年 2月 春日井市
第16回小牧春日井小児科懇話会 当院における肺炎球菌ワクチン普及後の肺炎球菌性髄膜炎の検討	研修医 西田あゆみ	2017年 8月 春日井市
第16回小牧春日井小児科懇話会 この春学校健診で異常のあった症例	小児科 足達 武憲	2017年 8月 春日井市
第17回小牧春日井小児科懇話会 細菌性髄膜炎を反復し、人工内耳の関与が疑われる一例	小児科 竹内 陽平	2018年 3月 春日井市
第1回きず・とこずれ勉強会 Dr.F がこっそり教えるきず・とこずれの治療のコツ	皮膚科 古橋 卓也	2017年 5月 春日井市
29回地域連携研修会 高齢者に多い皮膚疾患を学ぼう！在宅でのケアを話そう！	皮膚科 古橋 卓也	2017年 9月 春日井市

研修会名／演題	講師	年月／場所
市民公開講座 負けるな！あきらめるな！アトピー性皮膚炎の皮膚に 生まれた人たちへ	皮膚科 古橋 卓也	2017年12月 春日井市
30回地域連携研修会 在宅ケア、ワークショップ - 陰部発赤 -	皮膚科 古橋 卓也	2018年 1 月 春日井市
市民公開講座 最近のお産事情と産後ケア	産婦人科 奥村 敦子	2017年 6 月 春日井市
第6回在宅医療推進のための多職種合同研修会 アドバンス・ケア・プランニング	がん相談支援センター 會津 恵司	2018年 2 月 豊田市
北区在宅医療勉強会 アドバンス・ケア・プランニング	がん相談支援センター 會津 恵司	2018年 2 月 名古屋市
小牧市民病院ACP懇話会 アドバンス・ケア・プランニング	がん相談支援センター 會津 恵司	2018年 3 月 小牧市
春日井薬業連携コンソーシアム研修会2017 検査値をみてみよう	薬剤科 富田 庸介	2017年 4 月 春日井市
尾張中地区業務検討会 薬業連携による大腸がん化学療法のリスクマネジメント	薬剤科 鈴木 大吾	2017年 5 月 春日井市
春日井薬業連携コンソーシアム研修会2017 腎機能 PART 1	薬剤科 小川 英也	2017年 6 月 春日井市
尾張薬剤師Oncology Seminar 安心できる外来がん化学療法を目指して - 多職種による共同支援 -	薬剤科 鈴木 敦詞	2017年 7 月 名古屋市
春日井薬業連携コンソーシアム研修会2017 腎機能 PART 2	薬剤科 加藤 翔大	2017年 8 月 春日井市
福井県薬業連携の会 薬業連携 井戸端会議	薬剤部 坂田 洋	2017年11月 福井市
第7回 尾張・三河泌尿器腫瘍研究会 腎細胞癌における多職種による共同治療支援 - 安心できる外来治療の取り組み -	薬剤科 鈴木 敦詞	2018年 2 月 名古屋市
第1回 薬剤師が考える地域連携 薬業連携コンソシアム - これまでの取り組み -	薬剤科 石井 秀明	2018年 3 月 春日井市
第1回 薬剤師が考える地域連携 検査値による処方監査の有用性	薬剤科 鈴木 大吾	2018年 3 月 春日井市
NPO法人ゆうゆう主催 - 健康食品は体によいか	薬剤部 坂田 洋	2018年 3 月 春日井市
第22回春日井透析セミナー 人生の最終段階を自分の意思で決めた母と、母に寄り 添い支えた家族の報告～最期に立ち会った家族の立場 から～	看護局 川原 直子	2018年 9 月 春日井市

▼がんオープンカンファレンス

テーマ	講師	年月
脳腫瘍	脳神経外科 真宮 崇	2017年 4 月

テーマ	講師	年月
緩和ケア 困ったせん妄とどうする鎮静	がん相談支援センター(精神) 長島 渉 消化器内科 望月 寿人	2017年 5月
腎臓のがん	泌尿器科 福原 信之 看護師 平田 沙耶 水野 沙知	2017年 6月
小児の白血病 小児白血病治療の現状と新しい試み	小児科 河邊太加志 看護師 山田みちよ	2017年 7月
がんと腎臓病学 オンコネフロロジーという新しい領域	腎臓内科 三村 哲史 臨床工学技士 毛利 真吾	2017年 8月
化学療法中の好中球減少期のマネジメントと多発性骨髄腫の治療	名古屋大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科 平野 大希	2017年 9月
緩和ケア病床について	内視鏡センター 望月 寿人 看護局 桐谷久美子 看護局 辻田由季子 がん相談支援センター看護師 崎山奈津子	2017年10月
肝臓がん	消化器内科 山本 友輝 祖父江 聡	2017年11月
FDG-PETを用いた画像診断と乳房専用PETの臨床使用	名古屋放射線診断財団 東名古屋画像診断クリニック 健診センター長 原 泰夫	2017年12月
みんなでやろう臨床研究 初めての統計	愛知医科大学 臨床研究支援センター 准教授 室谷 健太	2018年 1月
がんのリハビリテーション 食思不振メニューがヤバいんです!?	リハビリテーション技術室 水野るみ子 山下 裕 栄養管理室 大門 有紀	2018年 2月
胆管がん	外科 佐藤 文哉	2018年 3月

〈院内研修会〉

研修会名/演題	講師	年月
平成29年度 安全管理のための職員研修 悪質クレームへの対応	SOMPOリスケアマネジメント 星野 智史	2017年 7月

研修会名／演題	講師	年月
平成29年度 安全管理のための職員研修 ヒヤリ・ハット劇場	病院安全推進室	2018年3月
平成29年度 医療関連感染に関わる職員研修 災害時の感染対策	愛知医科大学看護学部 感染看護学 教授 佐藤 ゆか	2017年8月
医療倫理に関する研修 The DNAR	がん相談支援センター 會津 恵司	2017年8月
個人情報保護に関する研修会 個人情報保護の概要 個人情報の適切な取り扱い方・罰則	春日井市総務課	2017年10月
教育講演会 救急診療トラブル事例の教訓 救急外来における高齢者診療	福井大学医学部 地域医療推進講座特命教授 寺澤 秀一	2017年11月
児童虐待に関する研修会 医療現場における児童虐待の早期発見と対応のポイント	あいち小児保健医療総合センター 副センター長兼保健センター長 山崎 嘉久	2017年8月
平成29年度 医療関連感染に関わる職員研修 最近の肝炎事情と針刺し事故対応	医務局 祖父江 聡 看護局 三輪 幸	2018年2月
平成29年度 QI大会 当院が参加する医療の質評価事業の結果報告（平成28年度）各部門の取り組み	医療情報センター リハビリテーション技術室 山北 喜久 臨床工学技術室 石井 祐次 ナーシングサポート室 認知症看護認定看護師 伊藤 松恵	2017年11月
アンガーマネジメント研修 アンガーマネジメント	日本アンガーマネジメント	2017年11月
倫理研修会 パワハラの種類っていませんか	臨床心理士 大脇 真奈	2017年12月
保険診療研修 2018年同時改定の方向性	ASK梓診療報酬研究所	2017年12月
第19回クリニカルバス大会 クリニカルバスの作成と今後の人材育成	3階東病棟 鈴木 真由 リハビリテーション技術室 山下 裕 4階東病棟師長 岩切 紅美	2018年1月
保険診療研修 2018年診療報酬改定の概要やポイントについて	ASK梓診療報酬研究所	2018年3月
保険診療研修 Webセミナー DPC/急性期病棟を中心に 診療報酬・介護報酬同時改定を踏まえた病院経営戦略を考える	千葉大学医学部附属病院副院長 井上 貴裕	2018年3月
患者の権利 アドバンス・ケア・プランニング（ACP）について	がん相談支援センター 會津 恵司	2018年3月

▼がんセンターボード

テーマ	講師	年月
直腸がんで化学療法中、大腸穿孔をきたした1例	消化器内科 池内 寛和 外科 三竹 泰弘	2017年 4月
胃癌多発肝転移に対してXELOX施行中、間質性肺炎を生じた1例	外科 山本 泰資	2017年 6月
咽頭癌+多発食道癌に対して施行したCRT中に、様々な有害事象が出現した1例	消化器内科 池内 寛和	2017年 7月
浸潤性乳管癌を伴った乳腺パジェット病の1例	外科 岡本紗和子 渡邊 真哉	2017年 8月
オブジーボの効果と副作用	呼吸器内科 岩田 晋 野木森健一	2017年 9月
膵臓がん化学療法中に四肢の浮腫を生じた1例	消化器内科 原田 貴仁	2017年10月
大腸がん化学療法カンファレンス	フリーディスカッション	2017年11月
自壊した陰茎癌の1例	泌尿器科 福原 信之	2017年12月
進行乳がんがんセンターボード -ホルモン注射（フェソロデックス）症例検討-	フリーディスカッション	2018年 2月
カルボプラチン過敏性反応を有する再発卵巣癌患者のプラチナ製剤投与について	産婦人科 奥村 敦子	2018年 3月

▼看護実践報告会

テーマ	講師	年月
第一回 他部署の取り組みを知り実践につなげよう		
褥瘡発生の追求とその対策をチームで考える ～整形外科牽引手術における皮膚トラブル～	手術室 黒野明日香	平成29年 7月
CTS（コンチネンスサポート）活動中間報告『オムツ交換』を業務から個別性のある排尿ケアへ	東5階病棟 山本 陽子	
つなぐ看護確認電話プロジェクト	東3階病棟 宮川 美栄	
西5階病棟での倫理カンファレンスの実際 患者・家族の思いを汲んだケアの実践を通して	西5階病棟 大橋 涼子	
患者に寄り添い希望を支えたがん看護 外来化学療法センターから地域へ思いとケアをつないだ一症例	化学療法センター 廣畑 加代子	
がんで人生の最終段階にある外来通院患者の在宅支援	救急外来 立澤 宏真	
ER看護師における脳梗塞急性期のNIHSS評価の現状と今後の課題について	医療連携室 柳瀬 宏佳	平成29年 7月
夫立ち会い分娩を経験した夫の育児に対する意識	内科外来 川原 直子	

テーマ	講師	年月
第二回 他部署の取り組みを知り実践につなげよう		
がん地域連携パスコーディネーターが看護師である意義 ～がんサバイバーを支える～	がん相談支援センター 近藤 文代	平成30年1月
アデレク入院患児のプレパレーションの実践報告	西2階病棟 磯部真名美	
ICUにおけるせん妄対策	西3階病棟 山本 美穂	
患者中心の継続看護を目指して ～病棟スタッフが外来に下りてできること・やりたいこと～	西4階病棟 山根由香理	
検死を受ける患者の家族に対する看護師の認識	救命救急センター 杉浦公有子	
入院時外来看護記録の充実を目指して ～テンプレートによる入院時外来記録～	外来(内科) 安藤 悦子	
在宅療養が困難と思われた患者・家族を「生活者」と捉えた退院支援・退院調整	医療連携室 松田 千鶴	
入院から在宅まで一貫し在宅支援を行った高齢者糖尿病1事例におけるアプローチ法について ～自己インスリン注射の個別支援～	西7階病棟 鏡味 法子	
患者の療養生活が分断されないための看護体制への取り組みについて ～患者と共に考える看護計画の実践～	東7階病棟 大口 佳那子・松尾 佳美	
人生の最終段階を自分の意志で決めた母と、母に寄り添い支えた家族の報告 ～最後に立ち会った家族の立場から～	外来 川原 直子	

研修医CPC

剖検番号	テーマ	主治医	研修医(臨床)	研修医(病理)	指導病理医	年月
618	Aiにて死因が特定できなかったCPAの一例	床本 光弘 (内科) (坂 洋祐)	松浦 直樹	成井 龍樹	立山 尚	2017年5月
615	重症肺炎から死亡に至った一例	林 優佑 (糖尿病内科)	水谷 修平	玉木 修作	吉田めぐみ	2017年7月
623	肺小細胞癌から死亡に至った一例	大立 知子 (呼吸器科) (岩田 晋)	守田 桂子	武田 祐佳	立山 尚	2017年9月
629	肺胞出血から急激な経過をたどった一例	伊東 友憲 (呼吸器科)	西田あゆみ	篠田 和宏	吉田めぐみ	2017年11月
628	腹痛とAMY高値で入院して急激な経過をたどった1例	河村 逸外 (消化器科)	小出 聡	棄畑 綾香	立山 尚	2018年1月
631	食道癌手術後に急激な経過をたどった1例	會津 恵司 (外科)	竹内 正樹	加藤 涼平	吉田めぐみ	2018年3月

剖検報告

平成29年度病理解剖報告

剖検番号	年齢	性別	科	臨床診断	病理解剖学的診断
625	61	女	消化器内科	総胆管結石性胆管炎肺炎	1.胃癌術後(幽門側胃切除術 Billroth-I法)、再発・転移なし 2.気管支肺炎 3.血球貪食症候群 4.総胆管結石胆管炎 PTGBD後 5.肝小葉中心性出血性壊死 6.急性尿管壊死 7.腹膜炎 8.心肥大 9.循環障害;腔水症 10.脾腫 11.虚血性腸炎 12.大動脈粥状硬化症
626	74	男	腎臓内科	肺梗塞疑い 両側胸水 末期腎不全(透析中) 高血圧症	1.両側気管支肺炎、多発性血栓塞栓症、うっ血水腫、線維性胸膜炎 2.心肥大、虚血性小線維化巣 3.大動脈高度粥状硬化症 4.コレステロール塞栓症(肝、脾、腎) 5.透析腎 6.腔水症 7.結腸管状腺腫 8.全身脂肪織の膠様変性 9.良性前立腺過形成 10.腺腫様甲状腺腫 11.骨髄低形成、膠様変性
627	42	男	腎臓内科	Klippel-Trenaunay-Weber syndrome 慢性腎不全 敗血症	1.Papillary carcinoma(latent癌;左)、転移:両葉 2.Klippel-Trenaunay-Weber syndrome 1)混合型血管奇形(皮膚・縦隔・肺・胸膜・大網・胃・小腸・結腸・直腸・腸間膜・脾・脾・胆嚢・膀胱・後腹膜) 2)右下肢肥大 3.敗血症 4.両肺胸膜炎+両肺うっ血水腫(800g,910g) 5.腔水症(胸水(左100cc、右950cc)、腹水(200cc) いずれも血性) 6.出血傾向 7.骨髄過形成+血球貪食症候群 8.透析腎(40g,40g) 9.心肥大(軽度 340g) 10.大動脈粥状硬化(軽度) 11.胆嚢結石 12.手術痕(右腋窩、右下腹部、右腰部) 13.左右前腕シャント設置状態
628	81	男	消化器内科	急性脾炎 腸管浮腫(十二指腸~空腸) 幽門側胃切除術後(R-Y再建) 腸石 胆嚢摘出術後 左肺下葉結節影	1.左肺下葉びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫 2.胃癌術後状態、再発なし 3.右足底悪性黒色腫術後状態、再発なし 4.急性脾炎および腹膜炎 5.十二指腸下行憩室 6.骨髄低形成、血球貪食症 7.心肥大 8.虚血性腸炎 9.誤嚥性肺炎 10.大動脈粥状硬化症 11.肝von Meyenburg complex 12.腎硬化症 13.流星前立腺過形成 14.精巣高度萎縮
629	75	女	呼吸器内科	びまん性肺胞出血 慢性腎不全 ニューモシスチス肺炎 血小板減少症 サイトメガロウイルス感染症 播種性血管内凝固症候群	1.特発性肺胞出血(肺毛細血管炎)(565g,640g)+びまん性肺胞傷害+器質 2.陈旧性心筋梗塞(390g) 3.循環障害:腔水症 1)腹水(150cc) 2)胸水(100cc,200c) 4.高度粥状動脈硬化症 5.腹部大動脈瘤 6.コレステロール塞栓(消化管、脾、腎、膀胱、副腎、肺) 7.良性腎硬化症+慢性腎不全(30g,90g) 8.虚血性腸炎 9.脾出血性梗塞+急性脾炎 10.骨髄血球貪食症候群(骨髄、脾、肝) 11.脾上皮内腫瘍性病変(PanIN-1B)
630	73	男	腎臓内科	舌癌 ネフローゼ症候群 糖尿病	1.舌扁平上皮癌化学放射線治療後状態、転移あり(両側肺、肝臓、壁側胸膜、横隔膜、気管周囲リンパ節) 2.直腸癌術後状態、再発無し(2003年、tub1、pT1、pN0、stage I) 3.器質性肺炎、間質性肺炎、線維素性胸膜炎 4.半月体形成性糸球体腎炎 5.敗血症 6.腔水症(胸水左1000ml、右1200ml、心嚢水30ml) 7.骨髄過形成、血球貪食症 8.心褐色萎縮 9.大動脈粥状硬化症 10.るいそう(全身の脂肪組織の膠様変性) 11.虚血性腸炎 12.良性前立腺過形成 13.精巣萎縮
631	78	男	外科	胸部中部食道癌 非閉塞性腸間膜虚血	1.食道癌術後状態(術前化学療法+食道亜全摘術)、腫瘍残存なし 2.非閉塞性腸間膜虚血症 3.胃管虚血性変化 4.肝小葉中心性出血性壊死(ショック肝)(835g)+血管腫 5.急性尿管壊死(160g,210g) 6.急性脾炎(50g) 7.心肥大(400g) 8.高度粥状動脈硬化症(腹腔動脈、下腸間膜動脈の狭搾を伴う) 9.間質性肺炎(280g,335g) 10.前立腺肥大 11.大脳貧血性梗塞(局所的)
632	52	女	腎臓内科	ウイルス性脳障害(ヘルペス脳炎) 感染性ショック 播種性血管内凝固症候群	1.急性心筋梗塞 2.橋底部出血性梗塞 3.肺うっ血水腫、局所的気管支肺炎、微小髄様結節 4.脂肪性肝炎、肝うっ血(一部肝細胞壊死を伴う) 5.DIC 6.小腸・結腸粘膜下層の高度の浮腫 7.S状結腸出血性憩室炎 8.大脳皮質神経細胞虚血性変化、左大脳レンズ核貧血性梗塞 9.腎うっ血、右髄質線維腫 10.骨髄血球貪食症 11.子宮平滑筋腫、頸管ポリープ
633	73	女	消化器内科	急性脾炎 肝梗塞 敗血症 播種性血管内凝固症候群 腹腔内膿瘍 上大静脈血栓症	1.急性脾炎(壊死性脾炎) 2.急性胆管炎 3.膿瘍(皮下、腹腔(大網・肝門部)、右後腹膜) 4.門脈血栓症(肝門部、肝内) 5.血栓症(上大静脈、下大静脈、両肺、腎、結腸) 6.ショック肝(小葉中心性出血性壊死)+肝右葉被膜下出血 7.肺うっ血水腫+器質性肺炎+局所的硝子膜形成 8.心肥大(軽度)+局所的急性心筋梗塞 9.虚血性腸炎 10.胆石症 11.粥状動脈硬化症(軽度) 12.子宮内膿瘍 13.左卵巣漿液性腺線維腫 14.右卵巣良性Brenner腫瘍

剖検番号	年齢	性別	科	臨床診断	病理解剖学的診断
634	66	女	消化器内科	肝細胞癌 C型肝硬変 腹膜播種 転移性肺癌 癌性胸膜炎疑い	1.多発性肝細胞癌+肝硬変(術後再発、転移あり):両側肺、食道、直腸、腎) 2.甲状腺乳頭癌(ラテン癌、転移無し) 3.腔水症(右胸水2800ml、腹水400ml、心嚢水20ml) 4.回腸、結腸多発性血管形成異常 5.間質性肺炎、うっ血水腫、右無気肺 6.食道静脈瘤 7.大動脈粥状硬化症 8.心褐色萎縮(240g) 9.虚血性直腸炎 10.急性および慢性肺炎 11.急性尿管壊死 12.脾梗塞 13.子宮平滑筋腫 14.骨髄過形成
635	75	男	腎臓内科	敗血症性ショック 低用量性ショック	1.サルコイドーシス(心、肺、肝、脾) 2.心肥大(405g) 3.誤嚥性肺炎(405g;345g) 4.急性肺炎 5.敗血症 6.虚血性腸炎 7.高度粥状動脈硬化、閉塞性動脈硬化症(総腸骨動脈ステント留置状態) 8.骨髄軽度過形成+血球貪食症 9.良性腎硬化症、腎嚢胞(175g;205g) 10.びらん性胃炎 11.十二指腸管状腺腫 12.胆管過誤腫
636	68	男	神経内科	クロイツフェルト・ヤコブ病	1.クロイツフェルト・ヤコブ病(MM1+MM2皮質型孤発性) 2.肺うっ血、局所性間質性肺炎 3.心肥大(565g) 4.脂肪肝およびうっ血 5.慢性肺炎 6.慢性膀胱炎 7.軽度粥状硬化症 8.舌筋萎縮
637	66	女	神経内科	筋萎縮性側索硬化症 呼吸不全	1.筋萎縮性側索硬化症 2.肺うっ血水腫(軽度) 3.肝血管腫 4.空腸虚血性腸炎 5.慢性甲状腺炎 6.傍卵巣嚢胞 7.軽度粥状動脈硬化 8.良性腎硬化症(軽微) 9.高度るい瘦 10.左甲状腺・子宮摘出術後 11.胃瘻造設術後
638	75	男	呼吸器内科	消化管出血(疑) 右上葉肺癌(扁平上皮癌) 転移性骨腫瘍(腸骨、坐骨) 大腸癌 腹部大動脈瘤術後 慢性腎不全	1.右肺上葉扁平上皮癌放射線治療後状態、残存・転移あり(気管周囲リンパ節、胸壁、肝臓、右腸骨、坐骨) 2.下行結腸高分化型管状腺癌、粘膜内癌、転移無し 3.放射線性食道炎、出血性食道潰瘍 4.陳旧性心筋梗塞 5.粥状硬化症、腹部大動脈瘤(ステント留置状態) 6.両側腎萎縮(慢性腎不全状態)、急性尿管壊死 7.両側肺上葉プラ、線維素性胸膜炎、肺うっ血 8.胃潰瘍瘢痕 9.結腸管状腺腫 10.骨髄過形成 11.精巣萎縮
639	92	女	神経内科	クロイツフェルト・ヤコブ病 誤嚥性肺炎	1.クロイツフェルト・ヤコブ病 2.心アミロイドーシス 3.気管支肺炎、器質性肺炎、間質性肺炎、うっ血水腫 4.敗血症 5.胸部大動脈瘤 6.胆管微小過誤腫 7.良性腎硬化症(軽度) 8.急性肺炎(軽度) 9.腺腫様甲状腺腫 10.漿液性嚢胞腺腫(左右卵巣) 11.骨髄過形成、血球貪食症 12.慢性膀胱炎 13.舌筋萎縮(軽度)
640	82	女	呼吸器内科	悪性胸膜中皮腫(肉腫型) 慢性心不全	1.右胸膜原発肉腫型悪性中皮腫、浸潤・転移あり:心膜、心外膜、右横隔膜、肝臓、骨髄、気管周囲リンパ節、大動脈周囲リンパ節 2.両側気管支肺炎、右下葉肺梗塞 3.大動脈粥状硬化症、腹部大動脈瘤 4.慢性甲状腺炎(橋本病疑い) 5.DIC 6.心筋虚血性小線維化 7.急性肺炎、軽度 8.慢性膀胱炎 9.結腸メラノーシス 10.胃びらん
641	46	男	外科	敗血症	1.胆嚢管結石嵌頓に伴う急性壊疽性胆嚢炎 2.敗血症 3.播種性血管内凝固症候群 4.虚血性腸炎 5.心肥大(520g) 6.脾腫 7.肺うっ血水腫 8.限局性アミロイドーシス(脾) 9.脂肪肝(軽度) 10.副脾(脾尾部) 11.腎嚢胞(左)
642	41	男	消化器内科	心タンポナーデ 腹腔内血性腹水	1.急性心筋梗塞 2.心室瘤破裂による心タンポナーデ 3.心肥大(500g) 4.肺うっ血水腫(570g,390g) 5.腔水症:腹水(血性:2100ml) 6.骨髄過形成 7.粥状動脈硬化(中等度) 8.諸臓器腫大 9.脂肪肝(軽度) 10.良性腎硬化症(軽度)
643	73	男	呼吸器内科	小細胞肺癌 癌性胸膜炎疑い	1.左上葉肺小細胞癌、化学療法後状態E1a、浸潤・転移あり:胸壁、心嚢、気管周囲リンパ節、両側副腎、右腎、(大脳、左下顎リンパ節) 2.出血性胃潰瘍 3.器質性肺炎、嚥下性肺炎、間質性肺炎、局所的肺梗塞 4.肝うっ血 5.良性前立腺過形成 6.骨髄低形成
644	66	女	神経内科	筋萎縮性側索硬化症	1.筋萎縮性側索硬化症 2.神経原性萎縮 3.肺うっ血水腫 4.急性尿管壊死 5.心筋線維化(軽度) 6.大腸憩室 7.粥状動脈硬化症(軽度) 8.良性腎硬化症 9.骨髄軽度過形成

病 院 概 要

I 施設概要

1 沿革

昭和21年	6月	鷹来診療所開設
	7月	篠木診療所開設
23年	3月	鳥居松診療所開設 味美診療所開設
	10月	国民健康保険法の改正により春日井市国民健康保険公営となる
25年	9月	春日井市立市民病院設置条例制定、10月1日施行
26年	4月	第1病棟（42床）完成
	6月	本館完成
	8月18日	春日井市民病院として開院 診療科：内科、外科 病床数：一般病床 42床
	12月	産婦人科新設
27年	3月	医師住宅（2戸）完成
	10月	第2病棟（55床）完成 病床数：一般病床 97床となる
	11月	篠木、鳥居松診療所廃止
30年	3月	春日井市立春日井病院条例制定 春日井病院（伝染病棟）完成
	5月	春日井市立春日井病院（伝染病棟）開院（市民病院に併設） 病床数：一般病床 97床、伝染病床 30床 計 127床となる
32年	9月	桃山診療所開設
33年	1月	高蔵寺、坂下診療所開設
	3月	耳鼻いんこう科新設
	4月	病棟（50床）増築完成 病床数：一般病床 147床、伝染病床 30床 計 177床となる
34年	7月	国民健康保険診療施設春日井市民病院に改める
	8月	看護婦宿舎完成（木造2階建）
	9月	伊勢湾台風来襲
35年	1月	国民健康保険診療施設春日井市民病院設置条例制定
36年	3月	病院改築第1期工事（第1病棟）着工
37年	3月	病院改築第1期工事（第1病棟 116床）完成 （鉄筋コンクリート造地下1階地上3階、延床3,968.66㎡） 病床数：一般病床217床、伝染病床 30床 計 247床となる
	10月	病院改築第2期工事（診療管理棟）着工
38年	1月	医師住宅（2戸）完成
	4月	病院改築第2期工事（診療管理棟）完成 （鉄筋コンクリート造地下1階地上2階、延床2,030㎡）
	8月	小児科、眼科、整形外科新設
39年	4月	地方公営企業法の財務規定一部適用
	5月	看護婦宿舎完成（鉄筋コンクリート造4階建 50人収容）
	7月	上八田医師住宅完成（鉄筋コンクリート造2階建 4戸）
	8月	救急病院指定

昭和39年	9月	旧看護婦宿舎を病床（43床）に改造 病院事業再建整備計画を議決
	12月	病床数変更 病床数：一般病床 159床、結核病床 58床、伝染病床 30床 計 247床となる
40年	11月	鷹来診療所改築完成（木造平屋建）
41年	4月	整形外科休診
	8月	病院機構改革 医務局、事務局の2局制となる
	12月	病院事業財政再建計画議決
42年	1月	総合病院の名称使用承認
	3月	国保診療施設から独立、春日井市立春日井市民病院として発足
44年	8月	六軒屋医師住宅完成（4戸）
	10月	X線断層撮影装置整備
45年	1月	脳神経外科新設
	10月	第2病棟増築第1期工事着工
46年	3月	第2病棟増築第1期工事完成 （鉄筋コンクリート造地下1階地上2階、延床1,763.10㎡） 病床数：一般病床 284床、結核病床 44床、伝染病床 30床 計 358床となる
	8月	第2病棟増築第2期工事着工
47年	2月	第2病棟増築第2期工事完成 （鉄筋コンクリート造3～5階建、延床2,624.85㎡） 六軒屋医師住宅完成（2戸） 託児所開設
	7月	整形外科再開
48年	1月	鷹来診療所廃止 耳鼻いんこう科休診
50年	6月	耳鼻いんこう科再開
51年	6月	伝染病棟取り壊し工事着手
	8月	伝染病棟敷地整地後、看護婦宿舎建設工事着工
	12月	中央診療管理棟建設工事着工
52年	3月	看護婦宿舎建設工事完成 （鉄筋コンクリート造5階建 100人収容）
	9月	リハビリ棟（水治療室）完成
	12月	旧看護婦宿舎取り壊し工事着工
53年	1月	中央診療管理棟建設工事完成 （鉄筋コンクリート造地下1階地上3階、延床3,928.83㎡）
	3月	伝染病棟（10床）改築工事完成
	4月	市健康管理センター、休日急病診療所開設
	9月	診療棟及び第1病棟改造工事完成 病床数：一般病床 288床、結核病床 44床、伝染病床 10床 計 342床となる
54年	4月	消化器科新設

昭和54年 12月	結核病床を一般病床に変更 病床数：一般病床 332床、伝染病床 10床 計 342床となる
55年 12月	病院第2次整備事業着工
56年 9月	A病棟（第1病棟）4、5階増築工事完成 （鉄筋コンクリート造 延床1,766.59㎡） リハビリ棟（機能回復訓練室）完成（延床397.55㎡）
57年 3月	A病棟地階～3階改造工事完成
5月	病床数：一般病床 449床、伝染病床 10床 計 459床となる
8月	新中央診療管理棟増築工事完成 （鉄筋コンクリート造地下1階地上5階、延床1,741.10㎡） 中央診療管理棟4階増築工事完成（延床191.91㎡） 厨房増築工事完成（延床226.81㎡） 全身用X線コンピュータ断層診断装置（CT）整備
9月	人工透析部門開設
59年 3月	カルテ倉庫兼小動物実験棟完成（延床170.42㎡）
62年 8月	病院第3次整備事業完成 外来部門改造 最新医療機器の導入（ライナック、血管連続撮影装置、CT）
10月	循環器科、神経内科、泌尿器科、皮膚科、放射線科新設
63年 4月	病院機構改革 医務局、看護局、事務局の3局制となる
11月	病床数：一般病床 484床、伝染病床 10床 計 494床となる
平成元年 3月	病床数：一般病床 500床、伝染病床 10床 計 510床となる
3年 4月	呼吸器科、理学診療科新設 磁気共鳴断層撮影装置（MRI）整備
4年 1月	病診連携室を院内に開設
4月	病診連携事業開始
5月	事務局に病院建設準備室を新設
6月	新市民病院建設基本構想策定
5年 2月	予約診療開始
4月	病院建設準備室を病院建設室に改称 伝染病棟を8床に変更 病床数：一般病床 500床、伝染病床 8床 計 508床となる
8月	外来診療土曜日休診
6年 2月	新市民病院基本設計委託
7年 5月	新市民病院実施設計委託
7月	新市民病院看護職員宿舎工事着手
8年 2月	新市民病院調整池第1期工事着手
6月	形成外科新設 新市民病院本館建設工事着手
10月	新市民病院看護職員宿舎入居開始
9年 1月	理学診療科をリハビリテーション科、泌尿器科を泌尿器科に科名変更
8月	新春日井市民病院外構工事着手
10月	麻酔科新設
10年 4月	新市民病院研修医宿舎完成

平成10年 11月	新市民病院開院 診療科：22科（精神科、呼吸器外科、心臓血管外科、歯科口腔外科新設） 病床数：一般病床 550床（開放型病床50床含む）
11年 4月	感染症病床指定 病床数：一般病床 550床、感染症病床 6床 計 556床となる
13年 3月	臨床研修病院指定
12月	日本病院機能評価認定
15年 4月	女性専用外来開設
7月	日帰り手術センター開設 医療安全管理室開設 医療相談開始
16年 7月	動脈硬化外来開設
17年 4月	新生児聴覚検査開始 医療連携室開設
18年 4月	セカンドオピニオン外来開設
19年 3月	化学療法センター開設
4月	インターネット検査予約開始
20年 7月	静脈瘤外来開設
10月	糖尿病指導外来開設
21年 1月	敷地内全面禁煙
3月	春日井市民病院中期経営計画（公立病院改革プラン）策定
7月	糖尿病センター開設
22年 3月	災害拠点病院（地域災害医療センター）指定 中部大学との相互協力に関する覚書締結
6月	地域連携ステーション開設
9月	ブラッドアクセスセンター開設
23年 5月	電子カルテシステム導入 検査・入院案内コーナー設置
24年 3月	愛知県がん診療拠点病院 指定 災害派遣医療チーム（DMAT）発足
4月	一般病床のうち開放型病床を8床に変更
9月	地域医療支援病院承認
10月	（仮称）春日井市総合保健センター整備工事着工
25年 2月	看護相談外来開設
3月	春日井市民病院中期経営計画（公立病院改革プラン）改定
10月	もの忘れ外来開設 院内助産開設
26年 1月	神経内科、脳神経外科を総合保健医療センター棟に移設
2月	救急部門を総合保健医療センター棟に移設 救急病床開設 病床数：一般病床 556床（救急病床6床含む）、感染症病床 6床 計 562床となる
3月	放射線がん治療装置（トモセラピーHDA）導入
26年 4月	脳卒中センター開設

平成26年	4月	内視鏡センター開設
	6月	春日井市総合保健医療センター開所 糖尿病センター移設使用開始 血管内治療センター移設使用開始
	12月	採血室移設 心臓血管撮影装置更新
27年	2月	検査・入院案内コーナー移設 地域連携ステーション移設
	3月	第2次春日井市民病院中期経営計画策定
	4月	研修管理室開設
	6月	売店をコンビニエンスストアに改修
	9月	エンドオブライフ（EOL）ケア開始
	10月	救命救急センター指定
	12月	救命救急センター開設
28年	1月	院内保育所増築
	6月	コーヒーショップ開店
29年	3月	第2次春日井市民病院中期経営計画改定
	4月	一般病床を4床減床 病床数：一般病床 552床（救急病床6床含む）、感染症病床6床 計558床となる 病理診断科、救急科を新設 呼吸器科を呼吸器内科、消化器科を消化器内科、循環器科を循環器内科、耳鼻いんこう科を耳鼻咽喉科に名称変更 内科を内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、心臓血管外科を血管外科、心臓外科、放射線科を放射線診断科、放射線治療科に再編
	6月	電子カルテシステム更新 自治体立優良病院表彰受賞
平成30年	3月	磁気共鳴画像診断装置（MRI）増設
	4月	放射線治療センター、臨床心理室開設

2 歴代院長等（平成30年4月1日現在）

(1) 歴代院長

竹中元彦	昭26. 4. 1～昭29. 2. 16
後藤力	29. 3. 4～ 30. 12. 27
鈴木茂	30. 12. 28～ 57. 6. 30
大村豊	57. 7. 1～平2. 3. 31
三輪新	平2. 4. 1～ 12. 3. 31
矢野孝	12. 4. 1～ 21. 3. 31
渡邊有三	21. 4. 1～

(2) 歴代名誉院長

鈴木茂	昭57. 7. 1～平2. 3. 31
大村豊	平2. 4. 1～ 4. 3. 31
三輪新	12. 4. 1～ 21. 3. 31
矢野孝	21. 4. 1～ 24. 3. 31

(3) 歴代副院長

梶田武夫	昭26. 6. 1～昭30. 3. 1
林武久	30. 3. 7～ 32. 6. 30
飯田稔	33. 1. 1～ 45. 5. 1
中村金平	40. 8. 6～ 43. 7. 1
福井和典	43. 9. 1～ 49. 3. 31
船越宏恍	45. 3. 16～ 63. 12. 31
大村豊	52. 4. 1～ 57. 6. 30
三輪新	平2. 3. 1～平2. 3. 31
大橋大造	2. 3. 1～ 7. 3. 31
矢野孝	7. 1. 1～ 12. 3. 31
渡邊有三	12. 4. 1～ 21. 3. 31
金井道夫	14. 4. 1～ 27. 3. 31
伊藤和幸	15. 4. 1～ 24. 3. 31
種田陽一	24. 4. 1～ 26. 3. 31
平山幹生	24. 4. 1～ 27. 3. 31
松本修一	26. 4. 1～ 28. 3. 31
佐々木洋光	26. 4. 1～
山口竜三	27. 4. 1～
成瀬友彦	28. 4. 1～

(4) 歴代事務局長

林稔	昭25. 12. 1～昭29. 2. 1
伊藤六郎	29. 2. 1～ 29. 5. 10
梶田和雄	29. 5. 10～ 30. 6. 12
山崎成穂	30. 6. 13～ 30. 10. 10
伊藤義一	30. 10. 10～ 36. 4. 8

小川幸夫	昭36. 4. 8～昭42. 6. 30
長江不知男	42. 7. 1～ 50. 6. 30
永草宗司	50. 7. 1～ 54. 3. 31
三上坦	54. 4. 1～ 58. 3. 31
中山茂	58. 4. 1～ 62. 3. 31
荒川昭	62. 4. 1～平1. 3. 31
三上坦	平1. 4. 1～ 5. 3. 31
足立栄一	5. 4. 1～ 7. 3. 31
長江孝雄	7. 4. 1～ 7. 7. 31
長谷川典明	7. 8. 1～ 9. 3. 31
稲田嘉道	9. 4. 1～ 12. 3. 31
岡田滋	12. 4. 1～ 17. 3. 31
森川利博	17. 4. 1～ 19. 3. 31
梶田博	19. 4. 1～ 21. 3. 31
森典嗣	21. 4. 1～ 23. 3. 31
瀧本広男	23. 4. 1～ 27. 3. 31
大塚淳弘	27. 4. 1～ 29. 3. 31
坂井勝己	29. 4. 1～

(5) 歴代看護局長

榎本まさ子	昭26. 8. 1～昭48. 8. 30 (看護婦長)
榎本まさ子	48. 7. 1～ 56. 3. 31 (総看護婦長)
小林静子	56. 4. 1～平3. 3. 31 (総看護婦長)
中山ルミ子	平3. 4. 1～ 7. 3. 31 (看護部長)
岩田恒子	7. 4. 1～ 12. 3. 31 (看護部長)
林静子	12. 4. 1～ 19. 3. 31 (看護部長)
蔭山幸枝	19. 4. 1～ 24. 3. 31 (看護部長)
鈴江智恵	24. 4. 1～ 29. 3. 31 (看護部長)
上村睦美	29. 4. 1～

3 施設（平成30年4月1日現在）

(1) 所在地 愛知県春日井市鷹来町1丁目1番地1

(2) 施設名 春日井市民病院

(3) 開設者 春日井市長 伊藤 太

(4) 管理者 院長 渡邊 有三

(5) 病床数 一般病床 552床（うち救急部病床 6床）
感染症病床 6床 計 558床

(6) 診療科目 28科

内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、メンタルヘルス科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓外科、血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、歯科口腔外科、病理診断科、救急科

(7) 構造規模 敷地面積 140,200㎡

構 造 市民病院本棟
鉄骨鉄筋コンクリート造
病 棟 地上7階・地下1階
診療棟 地上3階・地下1階
総合保健医療センター棟
鉄骨造
地上4階

延べ面積 47,059㎡
うち市民病院本棟
45,672㎡
うち総合保健医療センター棟
1,387㎡

駐 車 場 有料1,100台、無料20台

その他の付属施設

エネルギーセンター、研修医宿舎、看護職員宿舎、保育所

4 施設基準等（平成30年4月1日現在）

(1) 入院基本料に関する事項

- ・一般病棟入院基本料（急性期一般入院基本料1）

入院患者7人に対し1人以上の看護職員を配置しています。看護職員が2もしくは3交代により、24時間看護を行っています。

また、院内感染防止、医療安全管理、褥瘡対策に係る体制を整備しています。

(2) 入院時食事療養費に関する事項

- ・入院時食事療養／生活療養（I）

管理栄養士により管理された食事を、夕食は午後6時以降など適時に、また、温冷配膳車を使用して適温で提供しています。

(3) 基本診療料に関する事項

- ・地域歯科診療支援病院歯科初診料
- ・歯科診療特別対応連携加算
- ・超急性期脳卒中加算
- ・医師事務作業補助体制加算2（40対1）
- ・看護職員夜間12対1配置加算1
- ・重症者等療養環境特別加算
- ・栄養サポートチーム加算
- ・感染防止対策加算1 感染防止対策地域連携加算
- ・感染防止対策加算1 抗菌薬適正使用支援加算
- ・患者サポート体制充実加算
- ・ハイリスク妊娠管理加算
- ・総合評価加算
- ・後発医薬品使用体制加算1
- ・データ提出加算2
- ・入院時支援加算
- ・救命救急入院料1 救急体制充実加算2
- ・特定集中治療室管理料の注4に掲げる早期離床
- ・リハビリテーション加算
- ・歯科外来診療環境体制加算1
- ・総合入院体制加算2
- ・診療録管理体制加算2
- ・急性期看護補助体制加算（50対1）
- ・療養環境加算
- ・精神科リエゾンチーム加算
- ・医療安全対策加算1 医療安全対策地域連携加算1
- ・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
- ・ハイリスク分娩管理加算
- ・呼吸ケアチーム加算
- ・病棟薬剤業務実施加算1
- ・入退院支援加算1 地域連携診療計画加算
- ・認知症ケア加算1
- ・特定集中治療室管理料1
- ・小児入院医療管理料3,4

(4) 特掲診療料

- ・高度難聴指導管理料
- ・糖尿病合併症管理料
- ・がん患者指導管理料 イ, ロ, ハ
- ・乳腺炎重症化予防ケア・指導料
- ・外来放射線照射診療料
- ・療養・就労両立支援指導料の注2に掲げる相談体制充実加算
- ・開放型病院共同指導料（II）
- ・肝炎インターフェロン治療計画料
- ・ハイリスク妊産婦連携指導料1
- ・薬剤管理指導料
- ・腎代替療法実績加算
- ・がん性疼痛緩和指導管理料
- ・糖尿病透析予防指導管理料
- ・院内トリアージ実施料
- ・がん治療連携計画策定料
- ・排尿自立指導料
- ・ハイリスク妊産婦連携指導料2
- ・地域連携診療計画加算

- ・ 検査・画像情報提供加算及び電子の診療情報評価料
- ・ 電子の診療情報評価料
- ・ 医療機器安全管理料（歯科）
- ・ 歯科治療時医療管理料
- ・ 在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料
- ・ 在宅血液透析指導管理料
- ・ 遺伝学的検査
- ・ H P V 核酸検出及びH P V 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
- ・ 検体検査管理加算（Ⅰ）
- ・ 時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
- ・ 胎児心エコー法
- ・ 長期継続頭蓋内脳波検査
- ・ 小児食物アレルギー負荷検査
- ・ センチネルリンパ節生検（片側）（併用法）
- ・ センチネルリンパ節生検（片側）（単独法）
- ・ C T 透視下気管支鏡検査加算
- ・ 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- ・ 無菌製剤処理料
- ・ 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）初期加算あり
- ・ 運動器リハビリテーション料（Ⅰ）初期加算あり
- ・ 呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）初期加算あり
- ・ がん患者リハビリテーション料
- ・ 歯科口腔リハビリテーション料2
- ・ 抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。）
- ・ エタノールの局所注入（甲状腺）
- ・ 導入期加算2
- ・ 下肢末梢動脈疾患指導管理加算
- ・ う蝕歯無痛的窩洞形成加算
- ・ 骨移植術（軟骨移植術を含む。）（自家培養軟骨移植術に限る。）
- ・ 脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術
- ・ 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
- ・ 上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科）、下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科）
- ・ 乳がんセンチネルリンパ節加算1（併用法）
- ・ 乳がんセンチネルリンパ節加算2（単独法）
- ・ ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
- ・ 大動脈バルーンパンピング法（I A B P 法）
- ・ 胆管悪性腫瘍手術（臍頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る。）
- ・ 体外衝撃波胆石破碎術
- ・ 体外衝撃波膀胱石破碎術
- ・ 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
- ・ 輸血管理料Ⅰ
- ・ 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- ・ 広範囲顎骨支持型装置埋入手術
- ・ 麻酔管理料（Ⅰ）
- ・ 医療機器安全管理料1, 2
- ・ 歯科総合医療管理加算
- ・ 持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定
- ・ 検体検査管理加算（Ⅳ）
- ・ ヘッドアップティルト試験
- ・ 神経学的検査
- ・ 内服・点滴誘発試験
- ・ C T 撮影及びM R I 撮影
- ・ 外来化学療法加算1
- ・ 心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）初期加算あり
- ・ リンパ浮腫複合的治療料
- ・ 人工腎臓 慢性維持透析を行った場合1
- ・ 透析液水質確保加算
- ・ 手術用顕微鏡加算
- ・ 腹腔鏡下肝切除術
- ・ 腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
- ・ 体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
- ・ 輸血適正使用加算
- ・ 歯周組織再生誘導手術
- ・ 歯根端切除手術の注3
- ・ 放射線治療専任加算

- ・ 外来放射線治療加算
- ・ 高エネルギー放射線治療
- ・ 高エネルギー放射線治療の1回線量増加加算（全乳房照射）
- ・ 強度変調放射線治療（IMRT）
- ・ 強度変調放射線治療（IMRT）の1回線量増加加算（前立腺照射）
- ・ 画像誘導放射線治療（IGRT）
- ・ 体外照射呼吸性移動対策加算
- ・ 定位放射線治療
- ・ 定位放射線治療呼吸性移動対策加算
- ・ 病理診断管理加算2
- ・ 悪性腫瘍病理組織標本加算
- ・ 口腔病理診断管理加算2
- ・ クラウン・ブリッジ維持管理料
- ・ 酸素の購入単価

5 各種指定医・指定医療機関等の状況（平成30年4月1日現在）

(1) 指定医・指定医療機関

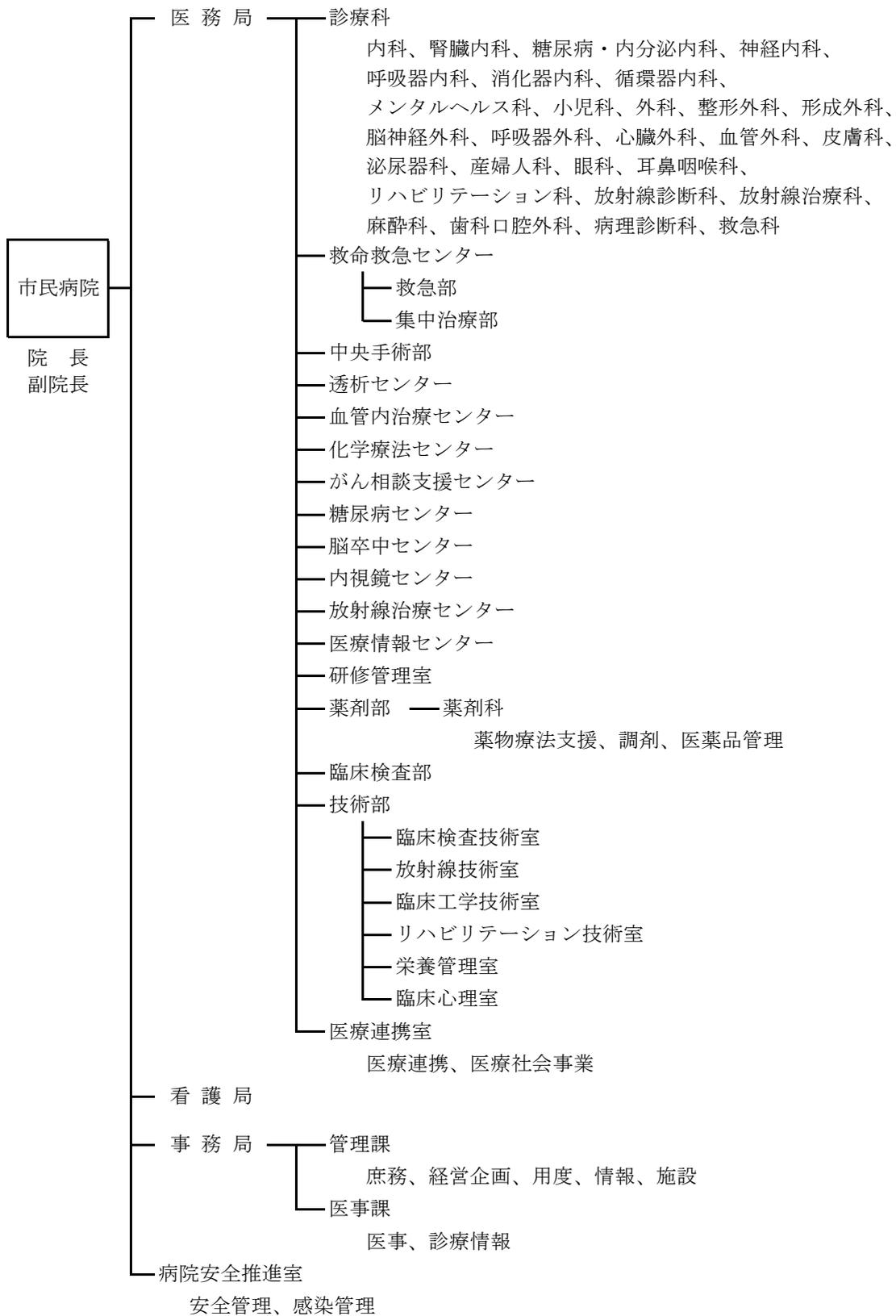
- ・ 保険医療機関
- ・ 救急告示病院
- ・ 労災保険指定医療機関
- ・ 生活保護法指定医療機関
- ・ 母体保護法指定医師
- ・ 臨床研修指定病院（医師法）
- ・ 指定自立支援医療機関
- ・ 肝疾患専門医療機関
- ・ 愛知県がん診療拠点病院
- ・ 地域医療支援病院
- ・ 臓器提供施設
- ・ 救命救急センター
- ・ 国民健康保険療養取扱機関
- ・ 被爆者一般疾病医療機関
- ・ 第二種感染症指定医療機関
- ・ 生活保護法指定医療機関（歯科）
- ・ 難病指定医療機関
- ・ 臨床研修指定施設（歯科医師法）
- ・ 病院機能評価認定病院
- ・ 災害拠点病院（地域中核災害拠点病院）
- ・ DMA T 指定医療機関
- ・ 卒後臨床研修評価認定病院
- ・ 指定小児慢性特定疾病医療機関
- ・ D P C 対象病院

(2) 認定等

- ・ 日本内科学会認定医制度教育病院
- ・ 日本透析医学会専門医制度認定施設
- ・ 日本神経学会専門医制度准教育施設
- ・ 日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設
- ・ 日本整形外科学会専門医制度研修施設
- ・ 日本泌尿器科学会専門医教育施設
- ・ 日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
- ・ 日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
- ・ 日本消化器病学会専門医制度認定施設
- ・ 日本消化器外科学会専門医修練施設
- ・ 日本腎臓学会研修施設
- ・ 日本肝臓学会認定施設
- ・ 日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関（画像診断・IVR部門、核医学部門、放射線治療部門）
- ・ 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- ・ 日本集中治療医学会専門医研修施設
- ・ 日本呼吸器学会認定施設
- ・ 日本小児科学会小児科専門医研修施設
- ・ 日本皮膚科学会認定専門医研修施設
- ・ 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- ・ 日本輸血細胞治療学会始め4学会認定輸血検査技師制度協議会指定施設
- ・ 日本栄養療法推進協議会認定栄養サポートチーム（NST）稼働施設
- ・ 日本病理学会研修認定施設B
- ・ 日本病態栄養学会認定栄養管理・栄養サポートチーム（NST）実施施設
- ・ 日本臨床細胞学会認定施設
- ・ 日本感染症学会認定研修施設
- ・ 日本周産期・新生児医学会周産期専門医（母体・胎児）認定施設（補完施設）

- ・日本周産期・新生児医学会周産期専門医（新生児）認定施設（補完施設）
- ・日本糖尿病学会認定教育施設 I
- ・日本手外科学会認定研修施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本脈管学会始め関連10学会腹部ステントグラフト実施施設
- ・日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- ・日本医療薬学会認定薬剤師制度研修施設
- ・日本静脈経腸栄養学会・栄養サポートチーム（NST）稼働施設
- ・日本内分泌学科認定教育施設
- ・日本肝胆膵外科学会認定高度技能専門医修練施設 B
- ・日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師研修施設
- ・日本胆道学会認定指導医制度指導施設
- ・日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設（呼吸器科）
- ・日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設（小児科）
- ・日本顎顔面インプラント学会研修施設
- ・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術の実施基準による実施施設
- ・日本臨床衛生検査技師会精度保証施設
- ・日本乳がん検診精度管理中央機構施設画像評価委員会認定施設
- ・日本救急医学会救急科専門医指定施設
- ・日本脈管学会認定研修指定施設
- ・日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設
- ・日本女性医学学会認定研修施設
- ・浅大腿動脈ステントグラフト実施施設
- ・日本病院会病院総合医育成プログラム認定施設

6 組織（平成30年4月1日現在）



7 職員数

職 種	平成27年度	平成28年度	平成29年度
医 師	177 (32 - 42)	182 (31 - 41)	190 (34 - 48)
薬 剤 師	31	36 (- 2)	37 (- 3)
診療放射線技師	30 (- 1)	31 (- 1)	33 (- 2)
臨床検査技師	38 (- 8)	36 (- 6)	36 (- 6)
理学療法士	11	12	12
作業療法士	5	5	5
あん摩マッサージ指圧師	1	0	0
はり師	1	0	0
臨床工学技士	18	16	18
視能訓練士	4 (- 2)	4 (- 2)	4 (- 1)
言語聴覚士	3	5 (- 1)	5 (- 1)
臨床心理士	2	2	2
小 計	144 (- 11)	147 (- 12)	152 (- 13)
助 産 師	32 (- 2)	31 (- 2)	31 (- 3)
看 護 師	570 (- 75)	581 (- 78)	593 (- 95)
准 看 護 師	14 (- 5)	13 (- 4)	12 (- 3)
歯科衛生士	9 (- 6)	12 (- 9)	13 (- 11)
小 計	625 (- 88)	637 (- 93)	649 (- 112)
行政事務職	54 (3 - 16)	60 (3 - 21)	57 (5 - 17)
行政技術職	2	2	2
栄 養 士	5 (- 1)	5 (- 1)	5 (- 1)
保 育 士	18 (- 17)	20 (- 19)	19 (- 18)
小 計	79 (3 - 34)	87 (3 - 41)	83 (5 - 36)
現 業 員	1	1	1
用 務 員	49 (- 48)	59 (- 58)	58 (- 57)
小 計	50 (- 48)	60 (- 58)	59 (- 57)
合 計	1,075 (35 - 223)	1,113 (34 - 245)	1,133 (39 - 266)

各年度6月1日現在の職員数。(-)は前が嘱託職員、後が臨時職員で内数。

休業中職員を含む。

8 主要医療器械備品（平成29年度購入分）

※購入金額：税込2,000万円以上

No.	器 械 名	購入年月日	所 属
1	磁気共鳴画像診断装置	3月29日	放射線技術室
2	手術用照明器	3月26日	手術室

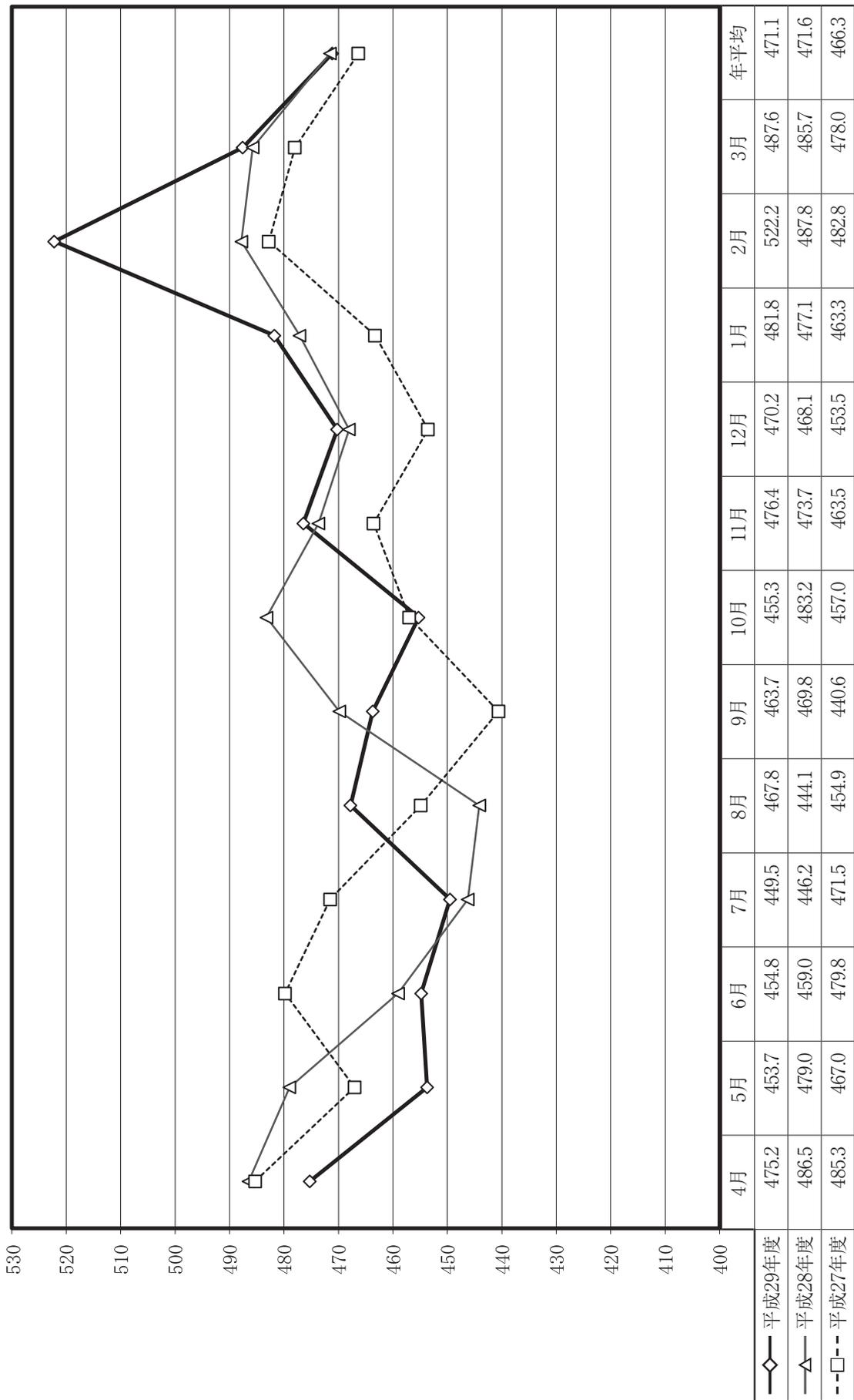
II 業務概要

1 入院者数 ※入院診療実績のある診療科のみ記載しています。

(単位:人)

科	平成29年												平成30年			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
神経内科	796	873	938	894	956	1,121	1,011	1,070	1,085	1,191	1,033	1,184	12,152			
呼吸器内科	1,365	1,554	1,214	1,401	1,325	1,206	1,282	1,223	1,282	1,783	1,635	1,306	16,576			
消化器内科	2,461	2,779	2,811	2,754	2,861	2,807	2,672	2,716	2,672	2,514	2,391	3,060	32,498			
循環器内科	1,396	1,335	1,223	1,105	1,213	1,101	1,288	1,416	1,550	1,337	1,404	1,296	15,664			
腎臓内科	1,241	1,155	994	922	1,030	1,041	869	835	858	1,286	1,099	901	12,231			
糖尿病・内分泌内科	500	375	393	350	362	378	305	312	320	310	437	375	4,417			
小児科	685	695	713	826	892	848	867	850	875	632	635	699	9,217			
外科	1,491	1,285	1,411	1,608	1,695	1,398	1,608	1,480	1,478	1,330	1,355	1,563	17,702			
整形外科	1,616	1,622	1,587	1,662	1,805	1,516	1,572	1,513	1,885	1,942	2,028	1,658	20,406			
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3			
脳神経外科	880	723	576	582	495	523	797	892	888	926	1,021	1,220	9,523			
呼吸器外科	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9			
心臓外科	0	14	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16			
血管外科	147	175	153	165	163	164	106	150	47	106	116	205	1,697			
皮膚科	340	290	284	193	160	239	278	275	199	238	233	247	2,976			
泌尿器科	364	222	337	402	425	397	431	375	294	335	280	295	4,157			
産婦人科	497	494	493	406	572	702	551	608	653	563	533	574	6,646			
眼科	102	110	132	103	116	75	88	131	117	50	102	75	1,201			
耳鼻咽喉科	208	207	166	324	214	258	258	247	229	202	133	172	2,618			
歯科口腔外科	163	153	217	238	217	137	130	200	145	190	186	282	2,258			
計	14,257	14,065	13,644	13,935	14,501	13,911	14,113	14,293	14,577	14,935	14,621	15,115	171,967			
実働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365			
1日平均	475.2	453.7	454.8	449.5	467.8	463.7	455.3	476.4	470.2	481.8	522.2	487.6	471.1			
新生児	123	115	111	84	72	142	112	92	178	79	109	109	1,326			
感染症病棟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
平成28年度	14,595	14,849	13,771	13,833	13,768	14,095	14,980	14,210	14,510	14,791	13,659	15,058	172,119			
平成27年度	14,559	14,478	14,394	14,617	14,101	13,218	14,167	13,906	14,060	14,361	14,001	14,818	170,680			

1日平均入院患者数の推移

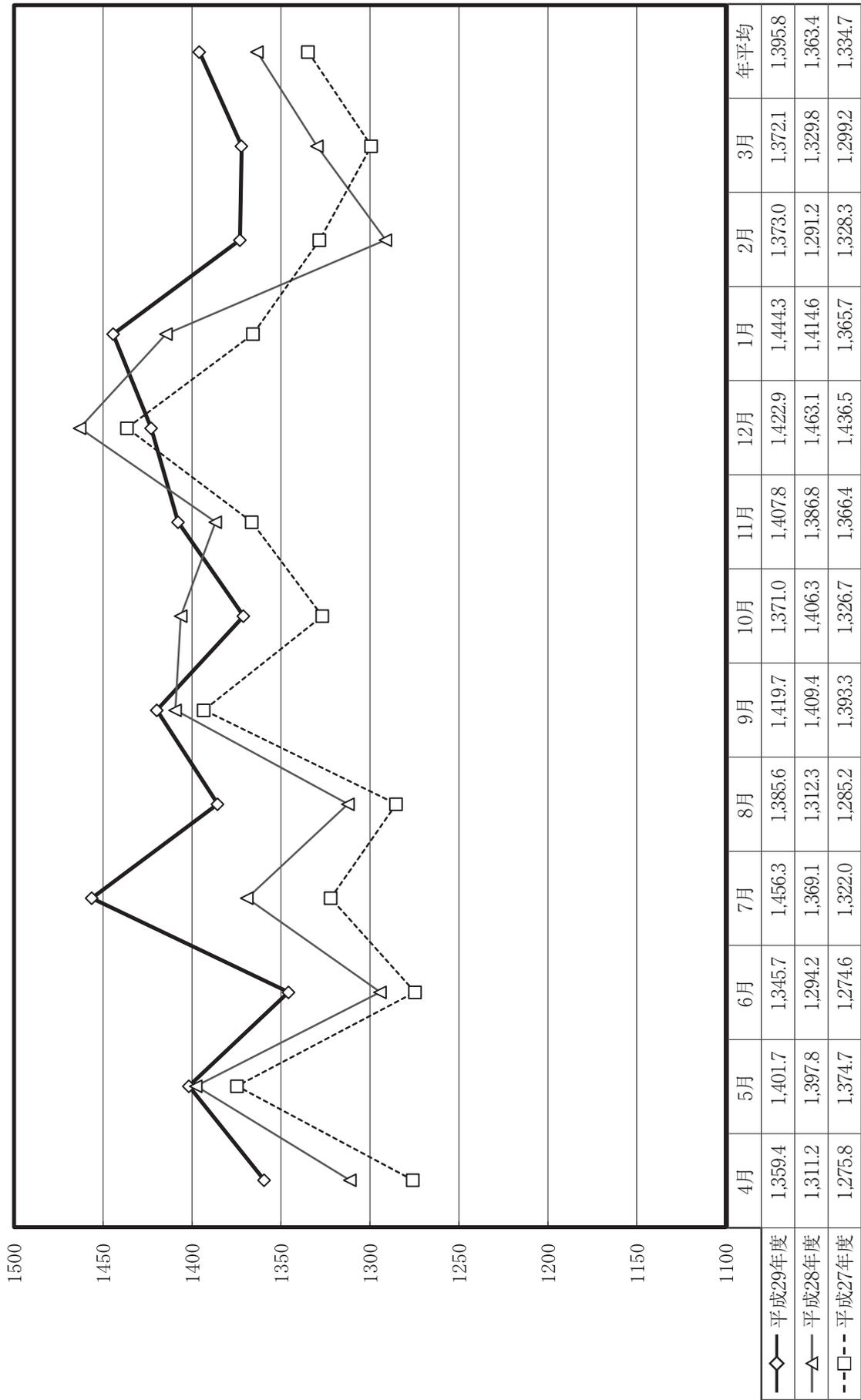


2 外来受診者数 ※外来診療実績のある診療科のみ記載しています。

(単位:人)

科	平成29年				平成30年												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
内科	416	643	628	444	464	376	411	419	426	661	539	465	5,892				
メンタルヘルス科	264	281	284	258	256	260	280	260	248	268	230	265	3,154				
神経内科	1,596	1,534	1,657	1,598	1,643	1,524	1,481	1,467	1,429	1,354	1,373	1,376	18,032				
呼吸器内科	968	966	994	1,023	1,059	970	1,003	962	993	1,017	917	993	11,865				
消化器内科	2,743	2,734	3,042	2,972	3,084	3,005	3,003	2,917	2,893	2,757	2,664	3,012	34,826				
循環器内科	1,546	1,548	1,633	1,477	1,496	1,490	1,564	1,474	1,588	1,488	1,365	1,451	18,120				
腎臓内科	1,801	1,879	1,867	2,035	1,958	1,839	1,884	1,845	1,860	1,839	1,697	1,892	22,396				
糖尿病・内分泌内科	2,045	1,845	1,950	2,062	2,141	2,098	2,132	2,087	2,175	2,068	1,852	2,204	24,659				
小児科	1,818	1,886	1,823	1,968	2,144	1,757	1,798	1,638	1,940	1,891	1,724	1,883	22,270				
外科	1,612	1,542	1,653	1,599	1,676	1,585	1,654	1,618	1,538	1,461	1,557	1,566	19,061				
整形外科	2,478	2,759	2,842	2,748	3,015	2,571	2,626	2,624	2,667	2,579	2,396	2,583	31,888				
形成外科	20	24	28	17	15	37	35	25	37	34	36	41	349				
脳神経外科	716	686	720	709	686	649	714	744	717	719	629	710	8,399				
呼吸器外科	33	40	41	36	48	41	21	27	25	19	26	23	380				
心臓外科	12	19	19	22	31	14	2	8	3	2	3	2	137				
血管外科	261	289	267	284	259	250	281	208	210	241	202	236	2,988				
皮膚科	1,283	1,477	1,628	1,675	1,811	1,545	1,532	1,456	1,420	1,458	1,323	1,567	18,175				
泌尿器科	1,332	1,377	1,511	1,387	1,333	1,529	1,557	1,376	1,549	1,412	1,208	1,509	17,080				
産婦人科	1,235	1,206	1,288	1,298	1,291	1,284	1,295	1,323	1,324	1,226	1,177	1,402	15,349				
眼科	888	919	1,011	922	1,021	929	952	964	975	929	970	1,026	11,506				
耳鼻咽喉科	1,301	1,389	1,372	1,365	1,428	1,268	1,217	1,341	1,348	1,257	1,219	1,358	15,863				
リハビリテーション科	706	761	933	946	1,157	1,031	1,004	938	919	714	754	783	10,646				
放射線診断科	24	24	20	28	28	30	17	10	5	18	13	15	232				
放射線治療科	269	262	394	363	382	346	381	468	400	301	303	387	4,256				
歯科口腔外科	1,821	1,943	2,000	1,889	2,057	1,966	1,946	1,957	1,768	1,729	1,910	2,065	23,051				
計	27,188	28,033	29,605	29,125	30,483	28,394	28,790	28,156	28,457	27,442	26,087	28,814	340,574				
実働日数	20	20	22	20	22	20	21	20	20	19	19	21	244				
1日平均	1,359.4	1,401.7	1,345.7	1,456.3	1,385.6	1,419.7	1,371.0	1,407.8	1,422.9	1,444.3	1,373.0	1,372.1	1,395.8				
平成28年度	26,224	26,558	28,472	27,381	28,870	28,188	28,126	27,735	27,799	26,877	25,823	29,256	331,309				
平成27年度	26,791	24,745	28,041	29,083	26,989	26,472	27,860	25,961	27,293	25,949	26,566	28,582	324,332				

1日平均外来受診者数の推移



3 入院・外来の患者構成と居住地区
年齢別入院患者数

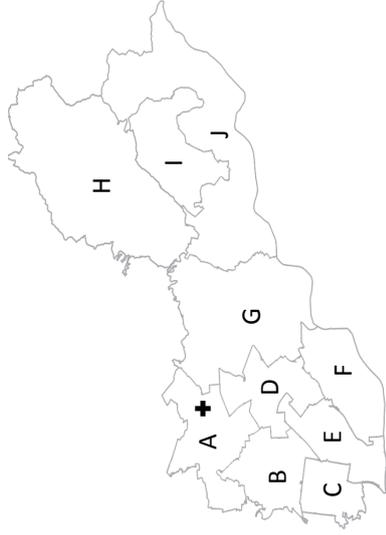
(単位:人)

	平成28年度	平成29年度
100歳以上	31	37
90歳代	614	733
80歳代	2,681	2,765
70歳代	3,412	3,670
60歳代	2,301	2,094
50歳代	1,013	1,090
40歳代	876	904
30歳代	505	482
20歳代	316	287
10歳代	343	371
0～9歳	1,264	1,441
計	13,356	13,874
平均年齢	61.3歳	61.3歳

居住地区別入院患者数

(単位:人)

地区名	平成28年度	平成29年度
鷹来地区	1,303	1,377
春日井地区	1,114	1,154
味美地区	828	843
中部地区	1,596	1,667
勝川地区	1,356	1,386
南部地区	1,109	1,129
東部地区	2,167	2,266
坂下地区	498	500
ニュータウン地区	744	768
高蔵寺地区	612	654
小牧市	1,157	1,274
名古屋守山区	210	218
その他	662	638
計	13,356	13,874



A:鷹来地区
B:春日井地区
C:味美地区
D:中部地区
E:勝川地区
+:市民病院

F:南部地区
G:東部地区
H:坂下地区
I:ニュータウン地区
J:高蔵寺地区

居住地区別外来患者数

(単位:人)

地区名	平成28年度	平成29年度
鷹来地区	5,459	5,514
春日井地区	4,913	4,999
味美地区	3,266	3,301
中部地区	6,374	6,433
勝川地区	5,652	5,586
南部地区	4,770	4,816
東部地区	9,445	9,347
坂下地区	2,082	2,079
ニュータウン地区	3,749	3,719
高蔵寺地区	3,285	3,316
小牧市	5,344	5,486
名古屋守山区	1,406	1,475
その他	4,096	4,207
計	59,841	60,278

(単位:人)

	平成28年度	平成29年度
100歳以上	39	49
90歳代	1,097	1,447
80歳代	5,935	6,916
70歳代	10,514	11,263
60歳代	8,724	7,771
50歳代	5,531	5,794
40歳代	6,653	6,738
30歳代	5,039	4,873
20歳代	3,905	3,754
10歳代	3,970	3,899
0～9歳	8,434	7,774
計	59,841	60,278
平均年齢	48.6歳	48.6歳

※入院患者数についてはDPC対象患者を算出し、外来患者数については一般外来の来院患者を算出

4 医療連携事業

(単位:人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
紹介受入患者数	28,241	29,744	31,716
診療	20,249	21,952	23,657
胃瘻交換	113	87	101
P T A	10	11	5
胃カメラ	540	457	487
腹部エコー	88	72	77
心エコー	134	113	150
注腸透視	105	60	51
脳波	7	14	14
C T	2,174	2,204	2,274
M R	1,273	1,247	1,162
アイソトープ	45	40	48
M M G	127	130	89
小計	4,493	4,337	4,352
外来患者数合計	24,865	26,387	28,115
入院患者数	3,376	3,357	3,601

外来
医療機器共同利用

[科別紹介患者数] ※紹介患者受入実績のある診療科のみ記載しています。(単位:人)

	紹介受入患者数	紹介目的			紹介経路		
		検査	外来	入院	当日	連携室	WEB
内科	562	0	386	176	414	145	3
メンタルヘルス科	56	0	56	0	34	22	0
神経内科	1,706	15	1,488	203	1,021	640	45
呼吸器内科	1,583	0	1,196	387	1,020	519	44
消化器内科	4,310	712	2,888	710	2,222	1,844	244
循環器内科	2,799	174	2,262	363	1,415	1,189	195
腎臓内科	854	6	692	156	554	292	8
糖尿病・内分泌内科	704	0	583	121	386	301	17
小児科	2,244	0	1,656	588	1,884	346	14
外科	2,259	89	2,005	165	1,623	621	15
整形外科	1,934	0	1,657	277	1,315	590	29
形成外科	7	0	7	0	5	2	0
脳神経外科	716	0	644	72	528	183	5
呼吸器外科	10	0	9	1	5	5	0
心臓外科	4	0	3	1	3	1	0
血管外科	508	0	458	50	238	257	13
皮膚科	1,110	0	1,069	41	786	291	33
泌尿器科	1,021	0	984	37	696	294	31
産婦人科	1,075	0	1,001	74	787	284	4
眼科	859	0	849	10	762	96	1
耳鼻咽喉科	1,571	0	1,463	108	1,072	486	13
リハビリテーション科	5	0	5	0	5	0	0
放射線診断科	3,501	3,456	45	0	4	3,082	415
放射線治療科	30	0	30	0	4	26	0
歯科口腔外科	2,288	6	2,221	61	1,965	284	39
計	31,716	4,458	23,657	3,601	18,748	11,800	1,168
平成28年度	29,744	4,435	21,952	3,357	17,456	11,636	652
平成27年度	28,241	4,616	20,249	3,376	16,192	11,244	805

5 紹介・逆紹介患者数及び紹介率 (単位:人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
紹介患者数(初診)(A)	20,669	22,412	22,840
逆紹介患者数(B)	25,608	25,080	27,247
初診患者数(C)	50,835	47,089	46,546
救急車来院初診患者数(D)	5,926	6,317	6,504
休日夜間受診初診患者数(E)	13,678	11,661	11,954
紹介率(A)/(C-D-E)	66.18%	76.99%	81.32%
逆紹介率(B)/(C-D-E)	82.00%	86.15%	97.01%

6 救急患者受入状況

※救急外来診療実績のある診療科のみ記載しています。

(単位:件)

科	機関	消防署	救急情報センター	医療機関	休日急病診療所	直接	電話依頼	計
内科		573	0	92	10	1,349	446	2,470
メンタルヘルス科		0	0	0	0	1	2	3
神経内科		2,071	1	134	12	923	391	3,532
呼吸器内科		528	0	149	19	579	150	1,425
消化器内科		1,125	1	354	59	1,473	687	3,699
循環器内科		822	0	158	11	663	291	1,945
腎臓内科		122	0	27	2	62	34	247
糖尿病・内分泌内科		39	0	13	0	14	22	88
小児科		627	0	540	111	2,411	1,258	4,947
外科		135	0	100	22	211	96	564
整形外科		1,601	3	208	32	2,208	926	4,978
形成外科		10	0	0	0	3	4	17
脳神経外科		1,023	1	57	4	987	580	2,652
呼吸器外科		15	0	5	0	2	2	24
血管外科		10	0	4	0	5	1	20
皮膚科		74	0	36	10	566	307	993
泌尿器科		153	0	40	10	369	189	761
産婦人科		76	0	21	4	176	258	535
眼科		18	0	11	0	160	82	271
耳鼻咽喉科		242	0	53	9	548	281	1,133
歯科口腔外科		30	0	20	1	188	109	348
計		9,294	6	2,022	316	12,898	6,116	30,652
平成28年度		9,719	11	2,003	335	13,189	6,591	31,848
平成27年度		9,324	8	1,751	271	15,123	8,222	34,699

7 手術等件数

※手術等の実施実績のある診療科のみ記載しています。

(単位:件)

区分	年月	平成29年												平成30年			月平均
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計			
手	消化器内科	12	9	12	9	13	11	10	11	9	6	8	9	119	9.9		
	循環器内科	49	50	49	44	53	53	43	48	49	36	43	22	539	44.9		
	腎臓内科	49	42	48	64	48	48	46	42	51	58	36	38	570	47.5		
	外科	103	106	119	127	117	100	123	117	106	103	100	99	1,320	110.0		
	整形外科	71	86	103	89	98	85	92	85	119	93	96	95	1,112	92.7		
	脳神経外科	18	12	23	15	19	10	22	18	26	22	21	24	230	19.2		
	心臓外科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1		
	血管外科	32	30	36	32	28	32	14	30	9	32	25	37	337	28.1		
	皮膚科	7	5	5	7	5	15	10	10	9	4	7	7	91	7.6		
	泌尿器科	18	16	14	12	20	17	19	21	16	16	20	15	204	17.0		
	産婦人科	41	34	36	35	41	48	32	44	35	39	40	48	473	39.4		
	眼科	50	47	51	52	53	41	53	53	41	44	53	41	579	48.3		
	耳鼻咽喉科	13	8	18	20	20	20	9	8	11	14	11	14	166	13.8		
放射線診断科	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	4	0.3			
歯科口腔外科	14	18	12	16	17	16	12	13	11	10	13	14	166	13.8			
計	477	464	526	522	532	496	485	502	493	477	473	464	5,911	492.6			
平成28年度	469	439	508	475	523	446	479	472	507	476	466	564	5,824	485.3			
平成27年度	415	395	440	463	470	416	431	413	419	463	436	469	5,230	435.8			

8 人工透析件数 (単位:件)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度
件数	12,626	12,109	12,049
月平均	1,052.2	1,009.1	1,004.1

9 分娩件数 (単位:件)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度
件数	371	305	235

10 剖検件数 (単位:件)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度
件数	11	14	20

11 栄養指導等件数 (単位:件)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度
栄養指導	2,732	2,336	2,512
栄養サポートチーム	181	149	227

12 処方せん枚数、薬剤管理指導件数 (単位:件)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度
入院	73,039	71,547	68,187
外来処方せん枚数	15,443	13,790	12,457
注射せん枚数	135,386	134,429	136,477
T P N無菌調製件数	3,142	1,270	1,504
化学療法調製件数	6,163	5,987	5,554
薬剤管理指導件数	22,509	23,053	25,697
計	255,682	250,076	249,876
院外処方せん	135,195	135,870	138,334
院外処方せん発行率	89.7	90.8	91.7

※診療時間外救急受診時は院内処方のみとしている。

13 検査件数 (単位:件)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度
生化学	2,151,826	2,201,100	2,336,582
免疫	195,165	202,468	214,544
血液	819,356	824,099	863,807
一般	527,609	510,730	507,077
細菌	57,570	59,270	62,285
病理	13,619	13,843	14,506
生	37,065	38,864	40,966
計	3,802,210	3,850,374	4,039,767

14 放射線撮影件数

(単位:件)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度
一般	単純撮影	78,338	83,561
	ポータブル	10,954	13,489
骨塩量測定	1,106	1,678	2,089
M	17,235	17,325	17,161
乳腺エコー	1,829	1,903	1,853
C	43,992	43,069	46,797
泌尿器科・婦人科撮影	326	316	280
透視	UGI	266	253
	腸	270	170
	透視検査	5,878	6,323
アイトーゾ	2,112	2,086	2,046
放射線治療	4,411	4,872	4,610
血管	心カテー	1,077	1,101
	脳・腹部・その他	1,027	1,103
テレビタ	画像入力	4,269	4,884
	画像出力	9,067	11,244
ESWL	123	92	121
計	182,280	186,208	197,085

15 各種検診等

区分	件数(件)	金額(円)	健診日
乳児健診	244	1,473,666	毎週月曜日
妊婦健診	2,624	19,838,510	平日診療日
産後健診	173	865,000	平日診療日
被爆者健診	36	330,718	6月・11月
乳児予防接種	70	726,714	毎週火・木曜日
肺炎球菌予防接種(高齢者)	64	371,784	平日診療日
インフルエンザ予防接種(高齢者)	552	1,549,573	平日診療日
結核定期病状調査	33	99,000	
その他の	456	9,217,081	
計	4,252	34,472,046	

※春日井市特定健診は未実施

16 がん相談支援センター相談件数

(単位:件)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度
件数	1,843	2,337	2,439

17 特殊外来の状況

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均	28年度	27年度
女性専用外来	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0.2	5	14
新生児聴覚検査	19	19	23	14	11	23	19	19	29	15	22	17	230	19.2	268	316
外来化学療法	405	412	439	407	419	404	406	377	392	372	360	415	4,808	400.7	4,948	4,635
緩和ケア外来	70	61	70	59	65	77	74	71	67	92	90	85	881	73.4	1,124	721
小児アレルギー外来	125	158	138	165	169	121	182	176	179	156	162	192	1,923	160.3	1,379	1,845
リウマチ外来	94	87	108	106	97	132	115	79	121	107	117	144	1,307	108.9	1,026	591
もの忘れ外来	93	89	102	71	84	84	75	73	73	69	73	85	971	80.9	710	563

18 入院患者数とクリニカルパス適用患者数

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
入院患者数	14,031	14,101	14,456
クリニカルパス適用患者数	6,023	6,126	6,094

19 市民公開講座

平成27年度

日付	題名	診療科	講師	参加人数
6月13日(土)	よくわかる前立腺がんのはなし	泌尿器科	春日井 震	132人
	当院の放射線治療とトモセラピーについて	放射線治療科	小崎 桂	
9月26日(土)	肝臓病に使うわかりやすい薬のはなし	薬剤部	中崎 みづき	233人
	肝臓病の最新情報	消化器内科	祖父江 聡	
12月12日(土)	もの忘れと認知症のおはなし	神経内科	寺尾 心一	253人
		看護局	伊藤 松恵	
2月6日(土)	よくある眼の病気	眼科	福田 紘子	228人
	知っておきたい耳と鼻の病気	耳鼻咽喉科	佐藤 雄二	

平成28年度

日付	題名	診療科	講師	参加人数
6月18日(土)	しのびよる病気 骨粗しょう症	整形外科	泉田 誠	130人
	転倒予防について	リハビリテーション技術室	中崎 亨	
9月10日(土)	乳がんの診断から治療の最新情報	化学療法センター	古田 美保	83人
	3Dマンモグラフィ	放射線技術室	大水 裕子	
12月3日(土)	よくわかる不整脈と心不全のお話し	循環器内科	小栗 光俊	190人
		循環器内科	大口 志央	
2月11日(土)	診断と治療	脳神経外科	桑山 直人	174人
	看護ケア	看護局	清原 達観	

平成29年度

日付	題名	診療科	講師	参加人数
6月10日(土)	災害拠点病院の概要について	院長	渡邊 有三	152人
	深部静脈血栓症(エコノミークラス症候群)について	血管外科	玉井 宏明	
	応急処置方法等について	整形外科	鈴木 浩之	
	DMA Tについて	救命救急センター	近藤 圭太	
9月9日(土)	最近のお産事情と産後ケア	産婦人科	奥村 敦子	98人
	当院で提供している産後ケアと子育て支援サービス	助産師	中橋 香那子	
	乳児期のスキンケアと食物アレルギーとの関連について	小児科	小林 貴江	
12月9日(土)	化繊・ウールでかゆい、アトピー性皮膚炎の皮膚～その違いは遺伝子にあった～など	皮膚科	古橋 卓也	150人
2月10日(土)	膵臓を知って、膵臓がんを知ろう	内視鏡センター	高田 博樹	230人
	消化器がんの放射線療法	放射線治療科	小崎 桂	

Ⅲ 経理概要

1 年度別収支状況（消費税抜）

(1) 総括

（単位：円）

科 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度
医 業 収 益	14,354,268,960	14,833,508,113	15,795,382,708
医 業 費 用	13,989,783,603	14,519,100,077	14,941,744,771
差引医業損益	364,485,357	314,408,036	853,637,937
経 常 収 益	15,485,880,034	15,962,887,549	16,588,662,204
経 常 費 用	14,985,997,872	15,286,090,842	15,677,633,627
差引経常損益	499,882,162	676,796,707	911,028,577
病院事業収益	15,485,880,034	15,962,887,549	16,588,662,204
病院事業費用	14,986,008,222	15,286,090,842	15,677,633,627
差引純損益	499,871,812	676,796,707	911,028,577
資 本 的 収 入	205,797,001	400,820,001	400,332,668
資 本 的 支 出	1,625,596,900	1,906,837,168	1,604,053,314
資本的収支差引	△ 1,419,799,899	△ 1,506,017,167	△ 1,203,720,646

(2) 収益的収支

病院事業収益

(単位:円)

科 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度
医業収益	14,354,268,960	14,833,508,113	15,795,382,708
入院収益	9,731,419,625	10,011,235,864	10,279,869,944
外来収益	4,233,292,489	4,410,595,543	4,563,166,441
その他医業収益	389,556,846	411,676,706	952,346,323
医業外収益	1,131,611,074	1,129,379,436	793,279,496
受取利息配当金	4,845,906	1,578,059	847,513
他会計補助金	787,498,000	784,044,000	455,153,000
補助金	25,951,000	22,955,000	22,673,000
長期前受金戻入	108,660,076	108,760,988	106,892,962
その他医業外収益	204,656,092	212,041,389	207,713,021
特別利益	0	0	0
固定資産売却益	0	0	0
過年度損益修正益	0	0	0
その他特別利益	0	0	0
計	15,485,880,034	15,962,887,549	16,588,662,204

病院事業費用

科 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度
医業費用	13,989,783,603	14,519,100,077	14,941,744,771
給与費	7,501,383,087	7,874,525,177	7,962,002,236
材料費	2,910,333,100	3,153,738,972	3,333,769,005
経費	2,311,115,432	2,347,439,783	2,548,053,753
減価償却費	1,194,352,741	1,067,390,526	1,029,756,712
資産減耗費	20,909,421	28,281,944	13,419,334
研究研修費	51,689,822	47,723,675	54,743,731
医業外費用	996,214,269	766,990,765	735,888,856
支払利息及び 企業債取扱諸費	198,032,508	184,216,094	170,128,414
繰延勘定償却	122,094,000	9,500,000	0
雑損失	676,087,761	573,274,671	565,760,442
特別損失	10,350	0	0
固定資産売却損	0	0	0
過年度損益修正損	10,350	0	0
その他特別損失	0	0	0
計	14,986,008,222	15,286,090,842	15,677,633,627

(3) 資本的収支

資本的収入

(単位:円)

科 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度
企 業 債	0	0	0
出 資 金	187,290,000	190,744,000	194,266,000
負 担 金	0	0	0
工 事 収 入	0	0	0
他会計貸付金返還金	0	200,000,000	200,000,000
固定資産売却代金	0	0	0
その他資本的収入	9,800,001	7,400,001	6,066,668
国 庫 補 助 金	0	0	0
県 補 助 金	8,707,000	2,676,000	0
計	205,797,001	400,820,001	400,332,668

資本的支出

科 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度
建 設 改 良 費	821,238,544	1,088,962,398	778,390,864
償 還 金	749,158,356	762,974,770	777,062,450
投 資	55,200,000	54,900,000	48,600,000
計	1,625,596,900	1,906,837,168	1,604,053,314

2 貸借対照表(消費税抜)

資産の部

(単位:円)

科 目	借 方		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
固定資産	23,663,686,800	23,336,467,188	22,768,903,141
有形固定資産	22,663,611,970	22,127,481,358	21,620,135,911
土地	8,380,094,431	8,380,094,431	8,380,094,431
建物	11,551,543,839	11,147,171,717	10,720,669,613
構築物	163,492,336	157,799,072	152,105,808
器械備品	2,250,107,894	2,247,742,919	2,277,268,631
車両運搬具	5,673,770	4,337,899	3,002,028
リース資産	312,699,700	190,335,320	86,995,400
建設仮勘定	0	0	0
無形固定資産	0	408,911,000	548,692,400
ソフトウェア	0	421,000	548,692,400
ソフトウェア仮勘定	0	408,490,000	0
投資	1,000,074,830	800,074,830	600,074,830
貸付金	166,300,000	179,100,000	188,700,000
貸付金貸倒引当金	△ 166,300,000	△ 179,100,000	△ 188,700,000
一般会計貸付金	1,000,000,000	800,000,000	600,000,000
その他投資	74,830	74,830	74,830
流動資産	8,964,871,685	9,479,450,911	10,019,260,564
現金預金	6,420,062,753	6,956,110,246	7,459,933,652
未収金	2,358,912,062	2,323,598,400	2,354,222,305
未収金	2,443,351,062	2,398,220,400	2,422,512,305
貸倒引当金	△ 84,439,000	△ 74,622,000	△ 68,290,000
保管有価証券	0	0	0
貯蔵品	184,353,870	199,373,465	202,344,415
前払金	1,543,000	368,800	2,760,192
繰延勘定	9,500,000	0	0
開発費	9,500,000	0	0
資産合計	32,638,058,485	32,815,918,099	32,788,163,705

負債の部

科 目	貸 方		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
固定負債	13,119,575,648	12,255,974,014	11,306,144,294
企業債	9,481,102,808	8,704,040,358	7,912,613,338
リース債務	190,110,840	101,080,656	25,234,956
引当金	3,448,362,000	3,450,853,000	3,368,296,000
退職給付引当金	2,834,825,000	2,945,986,000	3,000,729,000
修繕引当金	613,537,000	504,867,000	367,567,000
流動負債	2,913,160,188	3,193,165,717	3,116,839,428
企業債	762,974,770	777,062,450	791,427,020
リース債務	139,196,852	101,612,400	68,141,700
未払金	1,546,381,965	1,825,493,066	1,757,385,447
預り有価証券	0	0	0
前受金	4,793,601	4,247,801	4,111,261
引当金	458,813,000	483,750,000	494,774,000
賞与引当金	458,813,000	483,750,000	494,774,000
その他流動資産	1,000,000	1,000,000	1,000,000
繰延収益	2,775,644,874	2,669,559,886	2,562,666,924
長期前受金	5,956,934,278	5,959,610,278	5,959,610,278
受贈財産評価額	206,133,801	206,133,801	206,133,801
国庫補助金	307,935,479	307,935,479	307,935,479
県補助金	148,207,998	150,883,998	150,883,998
負担金	5,294,657,000	5,294,657,000	5,294,657,000
収益化累計額	△ 3,181,289,404	△ 3,290,050,392	△ 3,396,943,354
受贈財産評価額	△ 78,345,843	△ 83,375,963	△ 88,184,581
国庫補助金	△ 126,934,757	△ 134,208,371	△ 141,214,682
県補助金	△ 68,725,901	△ 75,013,583	△ 79,922,044
負担金	△ 2,907,282,903	△ 2,997,452,475	△ 3,087,622,047
負債合計	18,808,380,710	18,118,699,617	16,985,650,646

資本の部

科 目	貸 方		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
資本金	20,229,286,494	20,420,030,494	20,614,296,494
資本金	20,229,286,494	20,420,030,494	20,614,296,494
借入資本金	0	0	0
企業債	0	0	0
剰余金	△ 6,399,608,719	△ 5,722,812,012	△ 4,811,783,435
資本剰余金	186,335,232	186,335,232	186,335,232
受贈財産評価額	4,258,000	4,258,000	4,258,000
国庫補助金	165,325,946	165,325,946	165,325,946
県補助金	16,751,286	16,751,286	16,751,286
負担金	0	0	0
利益剰余金	△ 6,585,943,951	△ 5,909,147,244	△ 4,998,118,667
減債積立金	0	0	0
建設改良積立金	0	0	0
当年度末処分利益 剰余金 (当年度末処理欠損金)	△ 6,585,943,951	△ 5,909,147,244	△ 4,998,118,667
資本合計	13,829,677,775	14,697,218,482	15,802,513,059
負債・資本合計	32,638,058,485	32,815,918,099	32,788,163,705

3 経営分析

項 目				平成27年度	平成28年度	平成29年度		
病 利 用 率	一	般	年間延入院患者数/年間延 病床数×100	(%)	83.9	84.8	85.4	
	感	染	年間延入院患者数/年間延 病床数×100	(%)	0.0	0.0	0.0	
患 者 数	外来・入院患者比率		年間延外来患者数/年間延 入院患者数×100	(%)	190.0	192.5	198.0	
	職員1人 1日当たり 患者数	医 師	入院	年間延入院患者数/年間延 医師数	(人)	3.3	3.3	3.2
			外来	年間延外来患者数/年間延 医師数	(人)	6.2	6.3	6.3
	看護部 職員	入院	年間延入院患者数/年間延 看護部門職員数	(人)	0.8	0.8	0.7	
		外来	年間延外来患者数/年間延 看護部門職員数	(人)	1.4	1.5	1.5	
平 均 在 院 日 数			延在院患者数/((入院患者 数+退院患者数)÷2)	(日)	11.2	11.2	10.9	
平均外来一人当たり通院回数			年間延外来患者数/年間新 規外来患者数	(回)	6.0	6.6	6.9	
収 入	患者1人 1日当たり 診療収入	入 院	入院収益/年間延入院患者数	(円)	57,016	58,165	59,778	
		外 来	外来収益/年間延外来患者数	(円)	13,052	13,313	13,398	
薬 品	患者1人1日当たり 薬 品 費		薬品費(投薬注射)/年間 延患者総数	(円)	2,317	2,425	2,458	
	薬 品 使 用 効 率		薬品収入/薬品費(投薬注 射)×100	(%)	74.4	79.3	78.1	
診 療 収 入 割 合	投 薬 注 射 収 入		投薬注射収入/入院外来収 益×100	(%)	6.1	6.7	6.6	
	検 査 収 入		検査収入/入院外来収益× 100	(%)	8.8	8.7	8.9	
	放 射 線 収 入		放射線収入/入院外来収 益×100	(%)	7.4	7.2	7.2	
医 業 収 益 割 合	薬 品 費		薬品費(投薬注射)/医業 収益×100	(%)	8.0	8.2	8.0	
	医 療 材 料 費		医療材料費/医業収益×100	(%)	20.3	21.3	21.1	
	職 員 給 与 費		職員給与費/医業収益×100	(%)	52.3	53.1	50.4	
機 能 評 価 係 数 II			-	-	0.0579	0.0742	0.0753	
ク リ ニ カ ル パ ス 適 応 率			パス使用退院患者数/入院 患者数	(%)	42.9	43.4	42.2	
総 収 支 比 率			総収益/総費用×100	(%)	103.3	104.4	105.8	
経 常 収 支 比 率			経常収益/経常費用×100	(%)	103.3	104.4	105.8	
医 業 収 支 比 率			医業収益/医業費用×100	(%)	102.6	102.2	105.7	

※機能評価係数Ⅱとは、DPCの包括評価部分の算出に用いる医療機関別係数のひとつ。保険診療係数、効率性係数、複雑性係数、カバー率係数、救急医療係数、地域医療係数、後発医薬品係数、重症度係数の8項目から算出され、各係数が大きいと高度な医療機能を有するとみなされる。機能評価係数Ⅱ、クリニカルパス適応率を除く項目については、総務省が示す算出方法による。

地域連携誌「Trinity」の発行

市民病院では平成23年2月から、地域の医療機関の皆様へ地域連携誌「Trinity」を発行しています。最近の医療の話題や当院の治療実績、メディカルスタッフやチーム医療の活動紹介等を取り上げています。春日井市民病院ホームページからもご覧いただけます。

<https://www.hospital.kasugai.aichi.jp/byouin/torikumi/kohoshi/trinity.html>



○Vol.24 平成29年6月25日号

- ・医療連携室長あいさつ
- ・診療科の紹介（内科系診療科）
- ・診療科の紹介（外科系診療科）
- ・お世話になります！新任医師紹介コーナー
- ・病院NEWS



○Vol.25 平成29年9月25日号

- ・透析治療最新事情
- ・つむぎ
- ・急性冠症候群地域連携パスでつながる心臓リハビリテーション
- ・リンパ浮腫外来について
- ・つむぎ／お世話になります！新任医師紹介コーナー



○Vol.26 平成30年1月25日号

- ・平成30年を迎えて
- ・新任医師紹介
- ・つむぎ 感染管理認定看護師
- ・近年の不整脈治療 心房細動アブレーションを中心に
- ・地域医療連携の促進 前立腺がん地域連携パス
- ・脳梗塞アルテプラーゼ静注療法の効果 患者退院時転帰に注目して ほか

病院新聞「さくら」の発行

市民病院では平成17年8月から、地域の皆様へ向けた病院新聞を発行しています。病気のおはなし、当院の治療実績や、病院行事などを取り上げて紹介しています。春日井市民病院ホームページからもご覧いただけます。

<https://www.hospital.kasugai.aichi.jp/byouin/torikumi/kohoshi/sakura.html>



○Vol.36 平成29年4月1日号

- いつまでも楽しく歩く
- 市民公開講座
- 平成28年度病院満足度調査
- 「診療科名変更」のお知らせ



○Vol.37 平成29年8月1日号

- 透析センターの診療体制～患者さんの社会復帰のために～
- 透析の選択肢が増えました
- 臨床工学技士の紹介
- いつまでも楽しく歩く
- 市民公開講座
- 『らいふ』を発行します



○Vol.38 平成30年1月1日号

- 平成30年の年頭にあたって
- シリーズ もの忘れと認知症のおはなし（第7回）
- インフルエンザの季節がやってきた
- いつまでも楽しく歩く【最終回】
- 地域医療の充実！～より迅速に！よりの確な医療の提供を！～
- 市民公開講座／小児病棟に励ましの“一球”

健康新聞「らいふ」の発行

市民病院では平成29年9月から、健診結果の項目から疑われる病気
の紹介や必要な検査の説明、どの診療科に受診すれば良いかを知って
いただくことを目的として地域の皆様へ向けた健康新聞を発行しています。
春日井市民病院ホームページからもご覧いただけます。

<https://www.hospital.kasugai.aichi.jp/byouin/torikumi/kohoshi/life.html>

ドキッ!! 病気のサインに気づいていますか?

胃バリウム検査

(胃部X線検査)
の結果経過観察、要医療だった方必読!

こんな病気かもしれませんよ!

- 慢性胃炎
胃壁の炎症が慢性化し、痛みや吐酸、食欲不振、消化不良、胃潰瘍、胃がんの原因となります。
- 胃ポリープ
胃の内面に発生した肉状の突起です。ほとんどは良性、重症化はまれ。胃がんの原因の一つとされています。
- 胃がん
胃の内面に発生した肉状の突起です。早期発見により治療が可能です。進行すると転移し、治療が難しくなります。

まずは、かかりつけ医に相談しましょう!!

ドキッ!! 病気のサインに気づいていますか?

呼吸機能検査

の結果経過観察、要医療だった方必読!

こんな病気かもしれませんよ!

- 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)
COPD (Chronic Obstructive Pulmonary Disease) とは、慢性的に呼吸器が狭くなり、呼吸が難しくなる病気です。喫煙や大気汚染が原因です。呼吸困難、痰の増加、体重減少などの症状があります。
- 間質性肺炎
肺の組織が炎症や線維化により硬くなり、酸素がうまく入らない状態です。呼吸困難、乾いた咳、体重減少などの症状があります。

まずは、かかりつけ医に相談しましょう!!

ドキッ!! 病気のサインに気づいていますか?

心電図検査

の結果経過観察、要医療だった方必読!

こんな病気かもしれませんよ!

- 心筋梗塞
心臓の筋肉に血液が送られなくなり、心臓の一部が壊れます。胸痛、呼吸困難、めまいなどの症状があります。
- 不整脈
心臓のペースメーカーが正常に機能していません。心悸、胸痛、めまいなどの症状があります。

まずは、かかりつけ医に相談しましょう!!

ドキッ!! 病気のサインに気づいていますか?

尿検査

の結果経過観察、要医療だった方必読!

こんな病気かもしれませんよ!

- 慢性腎臓病
腎臓の機能が徐々に低下し、尿にたんぱく質や糖質が混ざることがあります。高血圧、貧血、浮腫などの症状があります。
- ネフローゼ症候群
腎臓の糸球体が炎症を起こし、たんぱく質や赤血球が尿に混ざることがあります。浮腫、貧血、尿蛋白尿などの症状があります。

まずは、かかりつけ医に相談しましょう!!

ドキッ!! 病気のサインに気づいていますか?

マンモグラフィ検査

(乳房X線検査)
の結果経過観察、要医療だった方必読!

こんな病気かもしれませんよ!

- 嚢胞 (のうほう)
乳房の組織に発生した液体の塊です。多くは良性ですが、まれに悪性腫瘍の原因となります。
- 線維線腫 (せんいせんじゅ)
乳房の組織に発生した良性の腫瘍です。手術が必要になる場合があります。
- 乳癌
乳房の組織に発生した悪性腫瘍です。早期発見により治療が可能です。

まずは、かかりつけ医に相談しましょう!!

○平成29年9月発行

- ・胃バリウム検査 … 慢性胃炎、胃ポリープ等 (消化器内科)
- ・呼吸機能検査 … 慢性閉塞性肺疾患等 (呼吸器内科)
- ・心電図検査 … 心筋梗塞、不整脈 (循環器内科)

○平成30年3月発行

- ・尿検査 … 慢性腎臓病等 (腎臓内科)
- ・マンモグラフィ検査 … 嚢包、繊維線腫等 (外科)

中日新聞「リンクト」 LINKED

「病院を知ろう」に
春日井市民病院が掲載されました。

<http://www.project-linked.jp>

中日新聞「リンクト」
LINKED plus+
病院を知ろう

**患者の思いを大切に、
生活の支援者になる。**

退院支援・調整特集
春日井市民病院

企画制作○中日新聞広告局 編集○プロジェクトリンクト事務局



LINKED-Plus26号
平成29年4月発行

中日新聞「リンクト」
LINKED plus+
シアワセをつなぐ仕事

**圧倒的な臨床経験が
直感力と判断力を育む。**

原田貴仁
消化器内科医師
春日井市民病院

企画制作○中日新聞広告局 編集○プロジェクトリンクト事務局



LINKED-Plus28号
平成29年11月発行

市民病院フォトギャラリー



市民公開講座



自治体立優良病院表彰



緩和ケアウィーク活動



世界糖尿病デー



ミニ講話



プロ野球選手慰問



磁気共鳴画像診断装置 (MRI) 増設

春日井市民病院年報 第5巻

発行 春日井市民病院
〒486-8510 春日井市鷹来町1丁目1番地1
電話 (0568) 57-0057

印刷所 木野瀬印刷株式会社
〒486-0958 春日井市西本町3丁目235番地
電話 (0568) 31-3118
